

2021年8月期第1四半期決算  
補足説明資料

2021年1月14日

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS  
(東証第一部・9418)

代表取締役社長 CEO

宇野 康秀

Copyright © 2021 USEN-NEXT HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

**USEN-NEXT  
HOLDINGS**



**1.** 2021年8月期第1四半期連結決算について

**2.** 事業セグメント別業績について

**3.** 事業概要及び成長戦略について

**4.** APPENDIX

1.

**前年対比で売上高5%増収、各段階利益は大幅な増益を達成  
今期業績予想に対しても順調な立ち上がり**

売上高	501 億円	(前年同期比 5%増収)
営業利益	41 億円	( 同 23%増益)
経常利益	39 億円	( 同 42%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	24 億円	( 同 62%増益)

2.

**コンテンツ配信が前年対比40%超の増収、利益は4倍と全体業績を牽引  
POSレジなど店舗向けIoT/DXサービスはコロナ禍においても継続成長**

3.

**安定した利益計上と借入圧縮により段階的に財務基盤改善、  
第1四半期末の自己資本比率は20%を超過**

# 第1四半期連結決算ハイライト（前年対比）

(単位：百万円)	2020年8月期 1Q実績	2021年8月期 1Q実績	増減
売上高	47,446	50,054	+2,608
営業利益	3,322	4,091	+769
営業利益率（%）	7.0%	8.2%	—
経常利益	2,771	3,934	+1,163
親会社株主に帰属する当期純利益	1,463	2,374	+911
親会社株主に帰属する当期純利益 [のれん調整後]	2,363	3,273	+910
1株当たり連結当期純利益（円）	24.37	39.53	—
1株当たり連結当期純利益 [のれん調整後]（円）	39.34	54.50	—
EBITDA	5,372	6,249	+877
EBITDAマージン	11.3%	12.5%	—
EBITDA-CAPEX（投融資含む）	3,463	4,240	+777

- ✓ コロナ禍以前より継続的に販管費の適正化施策を実施してきた結果、営業利益率は1.2%改善
- ✓ 経常利益は前期発生したリファイナンス関連費用が無くなったことによる改善、親会社株主に帰属する当期純利益は当期において資産売却等の特別利益を計上したことによる増加

# 第1四半期連結決算ハイライト（期首予想対比）

（単位：百万円）	2021年8月期 通期予想	2021年8月期 1Q実績	進捗
売上高	202,000	50,054	24.8%
営業利益	11,000	4,091	37.2%
営業利益率（%）	5.4%	8.2%	—
経常利益	10,200	3,934	38.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,000	2,374	47.5%
親会社株主に帰属する当期純利益 [のれん調整後]	8,300	3,273	39.4%
1株当たり連結当期純利益（円）	83.23	39.53	—
1株当たり連結当期純利益 [のれん調整後]（円）	138.13	54.50	—
EBITDA	19,800	6,249	31.6%
EBITDAマージン	9.8%	12.5%	—
EBITDA-CAPEX（投融資含む）	11,800	4,240	35.9%

- ✓ 売上進捗は25%も、期首予想を上回るペースでストック収入が積み上がっている状況
- ✓ 各段階利益は40%前後の進捗となり順調なスタート

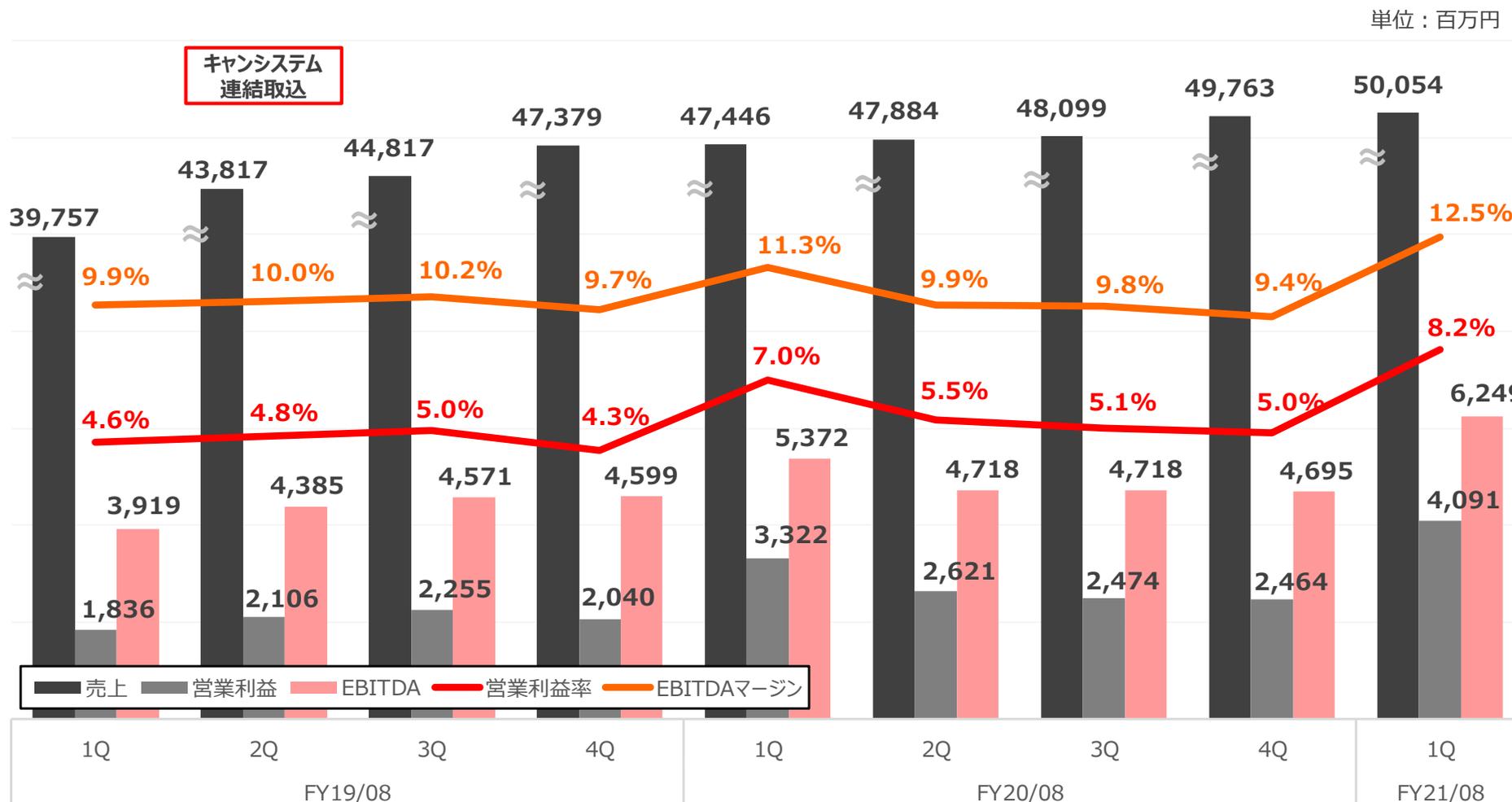
# 第1四半期連結決算ハイライト（売上及び営業利益推移）

<YoY>

売上  
+5%

EBITDA  
+16%

営業利益  
+23%



※EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

✓ ストック収益の着実な積み上げにより売上、利益ともに増加基調で推移

# 第1四半期連結決算ハイライト（販管費推移）

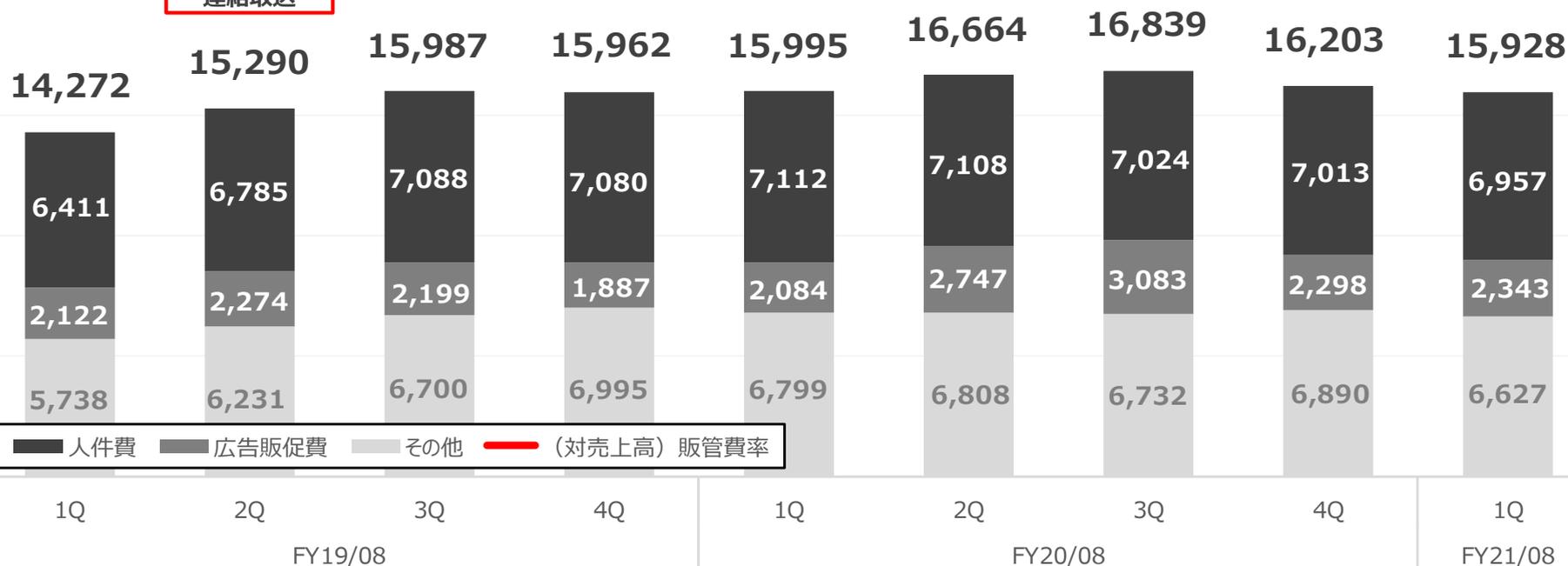
単位：百万円

<YoY>



販管費率  
▲1.9%

キャンシステム  
連結取込



販管費  
▲0.4%

✓ コンテンツ配信事業への積極投下により広告販促費は増加基調も連結販管費をコントロール、売上高対比の販管費率は逡減傾向で推移

# 第1四半期連結決算ハイライト（当期利益推移）

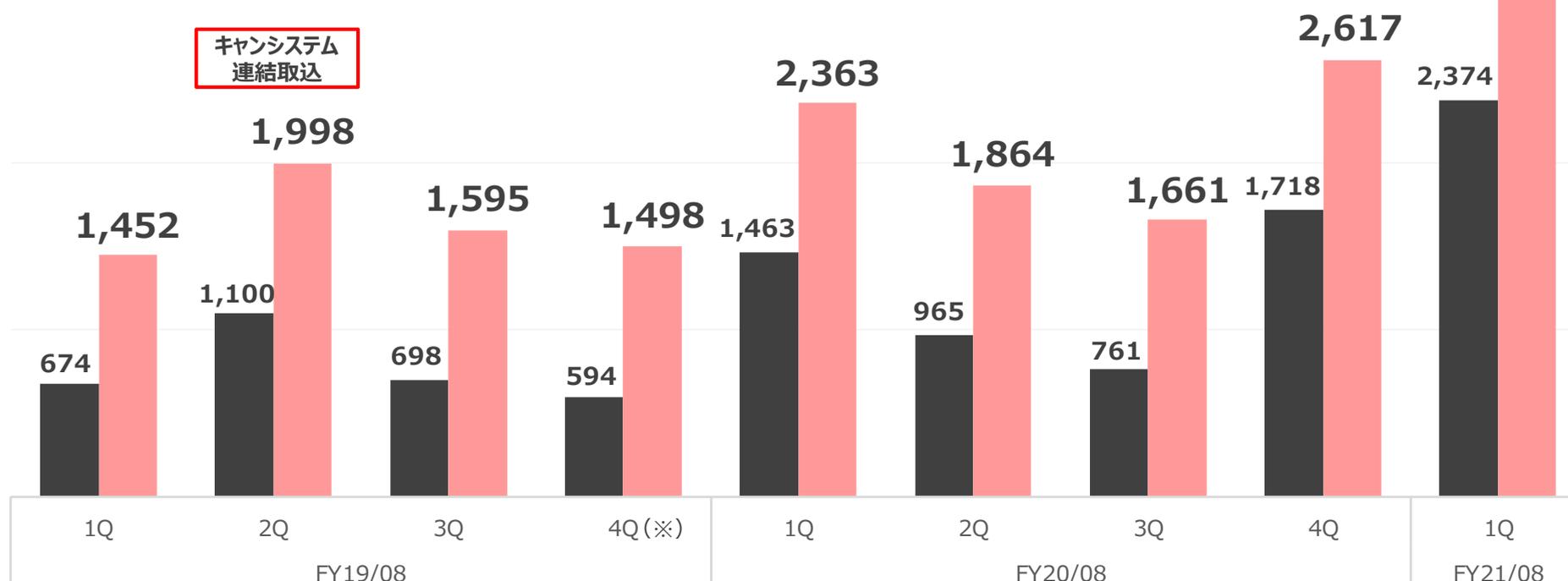
単位：百万円

<YoY>

■ 親会社株主に帰属する当期純利益  
 ■ 親会社株主に対する当期純利益 [のれん調整後]

調整後利益  
+ 39%

当期利益  
+ 62%



※FY19/08Q4については資産売却による税効果会計等で発生した30億円の一過性利益増加を控除したプロフォーマベース

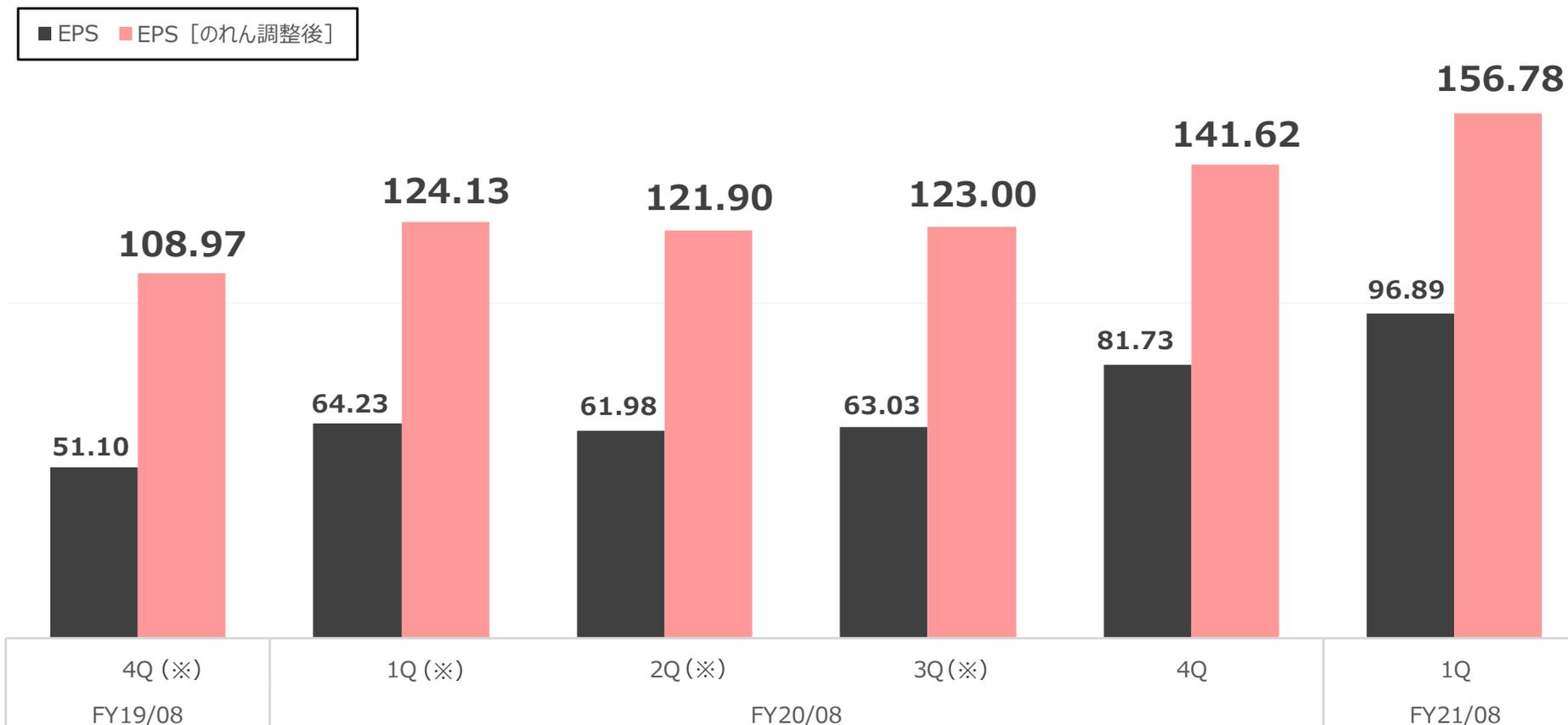
- ✓ 実勢値ベースの親会社株主に帰属する当期純利益は増益基調で推移、直近期は財務会計ベースで20億円、のれん調整プロフォーマベースで30億円を超過

# 第1四半期連結決算ハイライト (EPS推移 ※LTMベース)

※LTM : Last Twelve Month (直近12ヶ月)

単位: 円

<YoY>



調整後EPS  
+33円

EPS  
+33円

※FY19/08Q4に資産売却による税効果会計等で発生した30億円の一過性利益増加を控除したプロフォーマベース

✓ 発行済み株式数に大きな変動がないため、当期純利益に連動して実勢値EPSも増加傾向

# 第1四半期連結決算ハイライト（連結貸借対照表）

(単位：百万円)	2020年8月期 期末	2021年8月期 1Q末	増減
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>49,309</b>	<b>51,741</b>	<b>+2,432</b>
現金及び預金	16,785	17,746	+961
売掛債権	19,905	19,620	▲285
たな卸資産	6,417	7,459	+1,042
その他	6,202	6,914	+712
<b>固定資産</b>	<b>89,064</b>	<b>85,950</b>	<b>▲3,114</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>21,109</b>	<b>18,686</b>	<b>▲2,423</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>55,033</b>	<b>54,479</b>	<b>▲554</b>
のれん	50,620	49,720	▲900
その他	4,413	4,758	+345
投資その他の資産	12,920	12,784	▲136
<b>資産合計</b>	<b>138,374</b>	<b>137,691</b>	<b>▲683</b>

(単位：百万円)	2020年8月期 期末	2021年8月期 1Q末	増減
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>40,986</b>	<b>39,543</b>	<b>▲1,443</b>
仕入債務	18,316	18,739	+423
短期借入金	—	—	—
1年以内返済予定の長期借入金	6,060	3,710	▲2,350
その他	16,609	17,092	+483
<b>固定負債</b>	<b>71,645</b>	<b>70,508</b>	<b>▲1,137</b>
長期借入金	64,120	63,260	▲860
その他	7,525	7,247	▲278
<b>負債合計</b>	<b>112,631</b>	<b>110,052</b>	<b>▲2,579</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>	<b>25,500</b>	<b>27,394</b>	<b>+1,894</b>
資本金	95	95	—
資本剰余金	11,090	11,090	—
利益剰余金	14,313	16,207	+1,894
<b>その他包括利益累計額</b>	<b>231</b>	<b>254</b>	<b>+23</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>11</b>	<b>△9</b>	<b>▲20</b>
<b>純資産合計</b>	<b>25,742</b>	<b>27,639</b>	<b>+1,897</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>138,374</b>	<b>137,691</b>	<b>▲683</b>

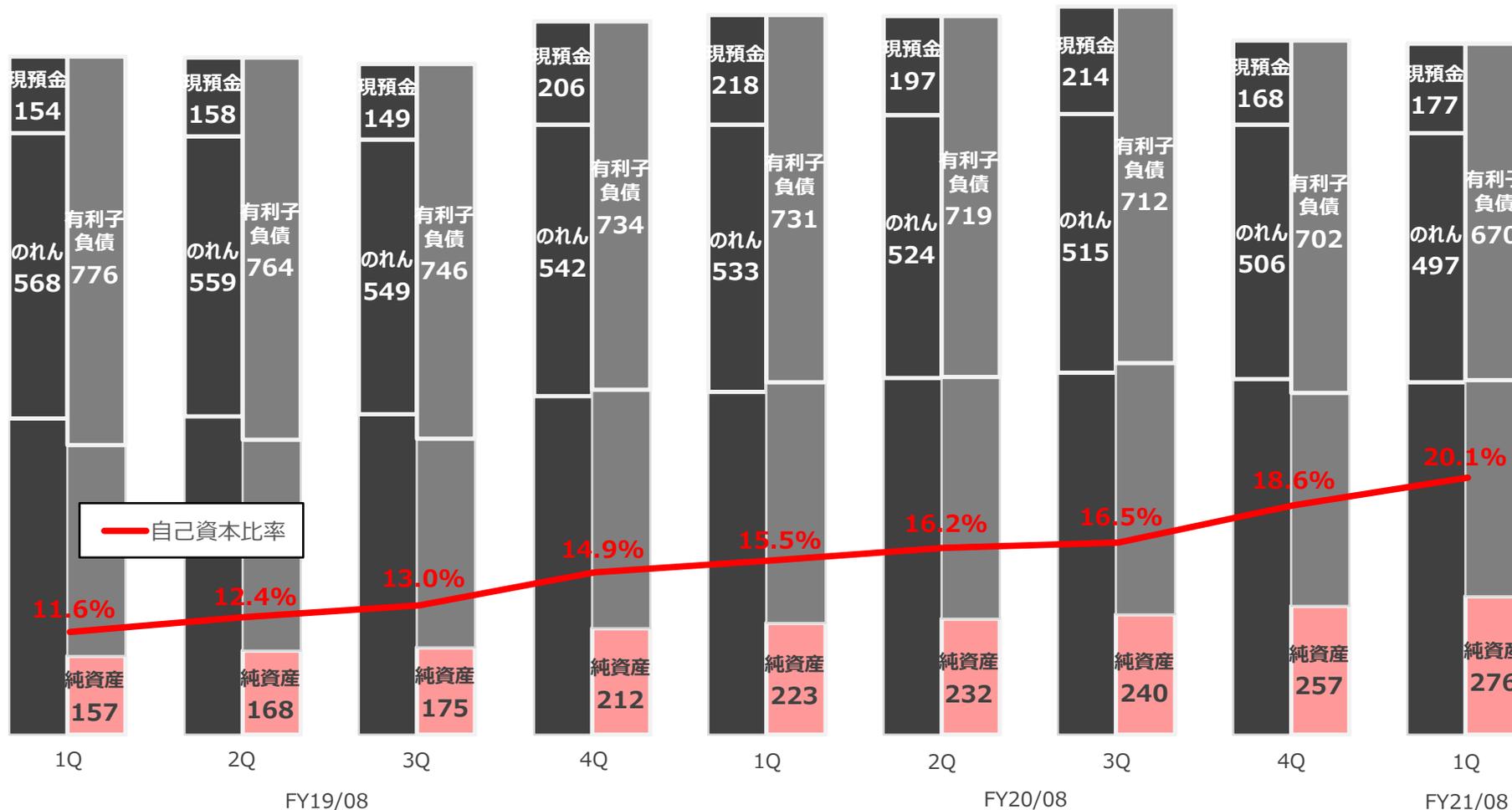
- ✓ 流動資産：主に現預金及び在庫調達（チューナーや店舗向けIoT/DX機器、精算機等）による増加
- ✓ 固定資産：主に資産売却及びのれん償却による減少
- ✓ 負債：主に借入返済（資産売却金での追加弁済を含む）による減少

# 第1四半期連結決算ハイライト（連結貸借対照表推移）

各四半期末日が休日で銀行休業日だったため  
約60億円の支払いが翌月繰り越し  
(現預金と負債が両膨らみ)

単位：億円

<YoY>



有利子負債  
▲61億円

のれん  
▲36億円

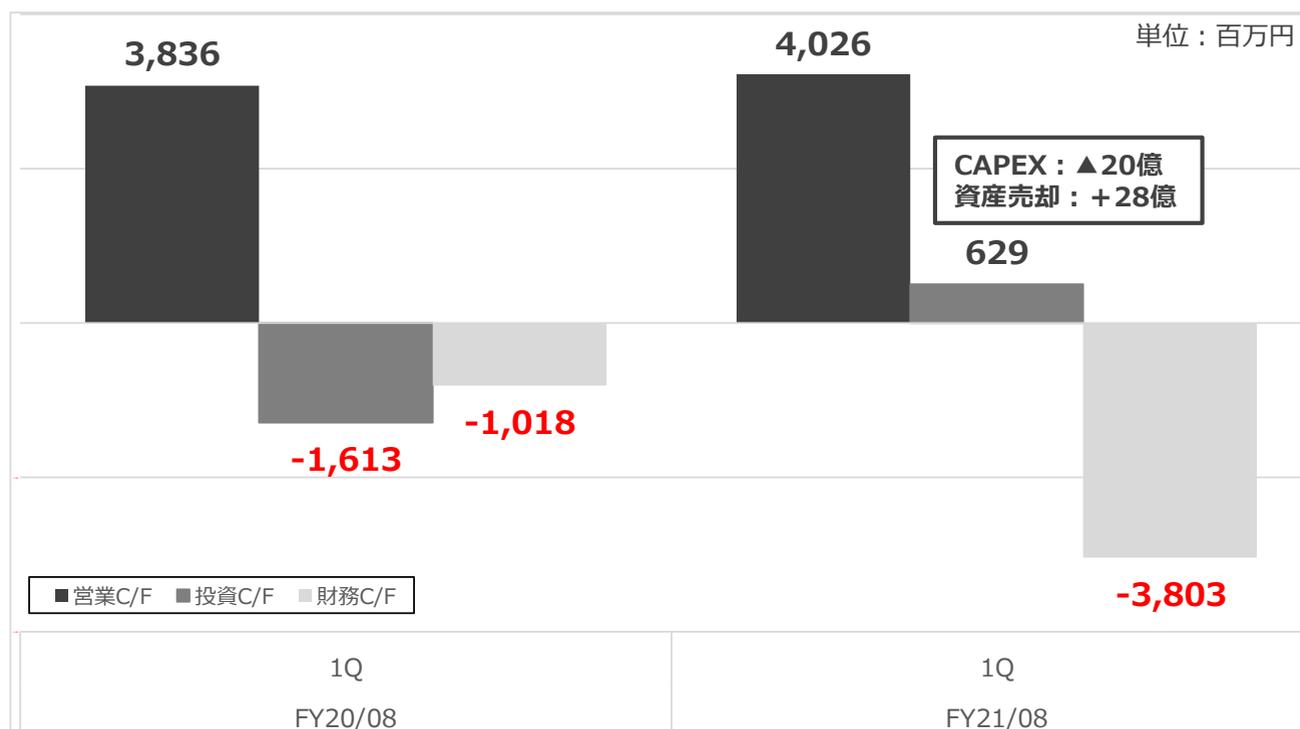
自己資本比率  
+4.6%

純資産  
+53億円

✓ 着実な利益積み上げと借入圧縮により、直近期末の自己資本比率は20%超まで改善

# 第1四半期連結決算ハイライト（連結キャッシュフロー）

(単位：百万円)	営業C/F (①)	投資C/F (②)	フリーC/F (③=①+②)	財務C/F (④)	C/Fトータル (③+④)
2020年8月期1Q	3,836	▲1,613	2,222	▲1,018	1,203
2021年8月期1Q	4,026	629	4,655	▲3,803	852



- ✓ 営業C/F：前年対比は税前利益+14億も、法人税▲6億、たな卸資産増減▲4億で一部相殺
- ✓ 投資C/F及び財務C/F：資産売却金28億円の一部を借入返済に充当

1. 2021年8月期第1四半期連結決算について

2. **事業セグメント別業績について**

3. 事業概要及び成長戦略について

4. APPENDIX

# 事業セグメント別業績（前年対比）

(単位：百万円)		2020年8月期 1Q実績	2021年8月期 1Q実績	増減
■店舗サービス事業（※1）	売上高	14,873	13,802	▲1,071
	営業利益	2,567	2,355	▲212
■通信事業	売上高	10,538	11,916	+1,378
	営業利益	927	990	+63
■業務用システム事業	売上高	5,162	4,007	▲1,155
	営業利益	892	483	▲409
■コンテンツ配信事業	売上高	9,988	14,293	+4,305
	営業利益	429	1,753	+1,324
■エネルギー事業	売上高	7,534	6,792	▲742
	営業利益	▲15	64	+79

※1 今期より旧メディア事業を店舗サービス事業へ統合したため、前年実績も今期実績と同ロジックで作成

※2 各セグメントに配賦していない全社費用は含まず

- ✓ 前年同期に消費増税前特需が発生し、  
今期はコロナ禍のネガティブ影響もある店舗サービス及び業務用システムが減収減益
- ✓ コロナ禍でポジティブ影響を受けたコンテンツ配信が大きく伸長、グループ全体の売上/利益成長を牽引

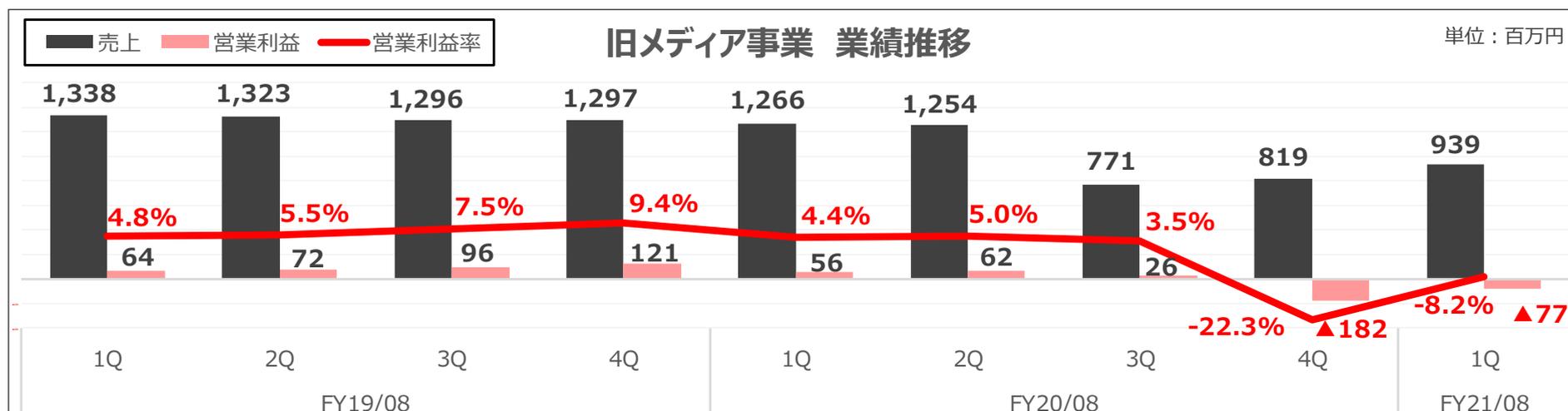
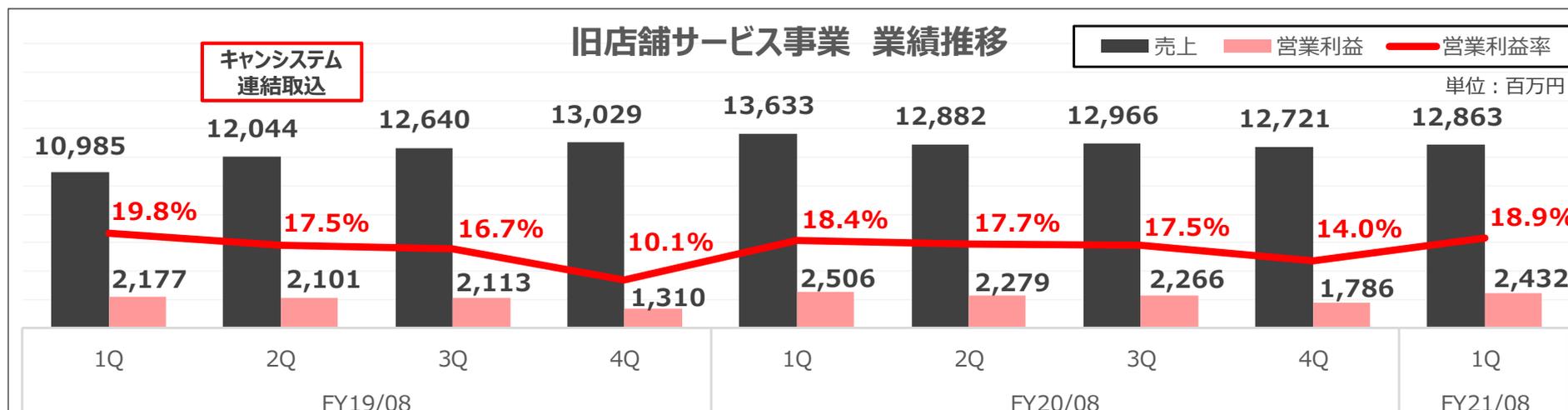
# 事業セグメント別業績（期首予想対比）

（単位：百万円）		2021年8月期 通期予想	2021年8月期 1Q実績	進捗
■ 店舗サービス事業（※）	売上高	54,500	13,802	25.3%
	営業利益	7,200	2,355	32.7%
■ 通信事業	売上高	43,500	11,916	27.4%
	営業利益	4,200	990	23.6%
■ 業務用システム事業	売上高	20,500	4,007	19.5%
	営業利益	3,300	483	14.6%
■ コンテンツ配信事業	売上高	56,000	14,293	25.5%
	営業利益	2,700	1,753	64.9%
■ エネルギー事業	売上高	30,500	6,792	22.3%
	営業利益	200	64	32.0%

※今期より旧メディア事業を店舗サービス事業へ統合したため、店舗サービス事業の通期予想値は旧店舗サービスと旧メディアの単純合算で作成

- ✓ 期首計画に対しては店舗サービス及びコンテンツ配信が大きく上回って進捗、一方で業務用システムは市場環境が回復せず自動精算機等のイニシャル売上を中心に弱含み

# 店舗サービス事業（旧セグメントプロフォーマ）



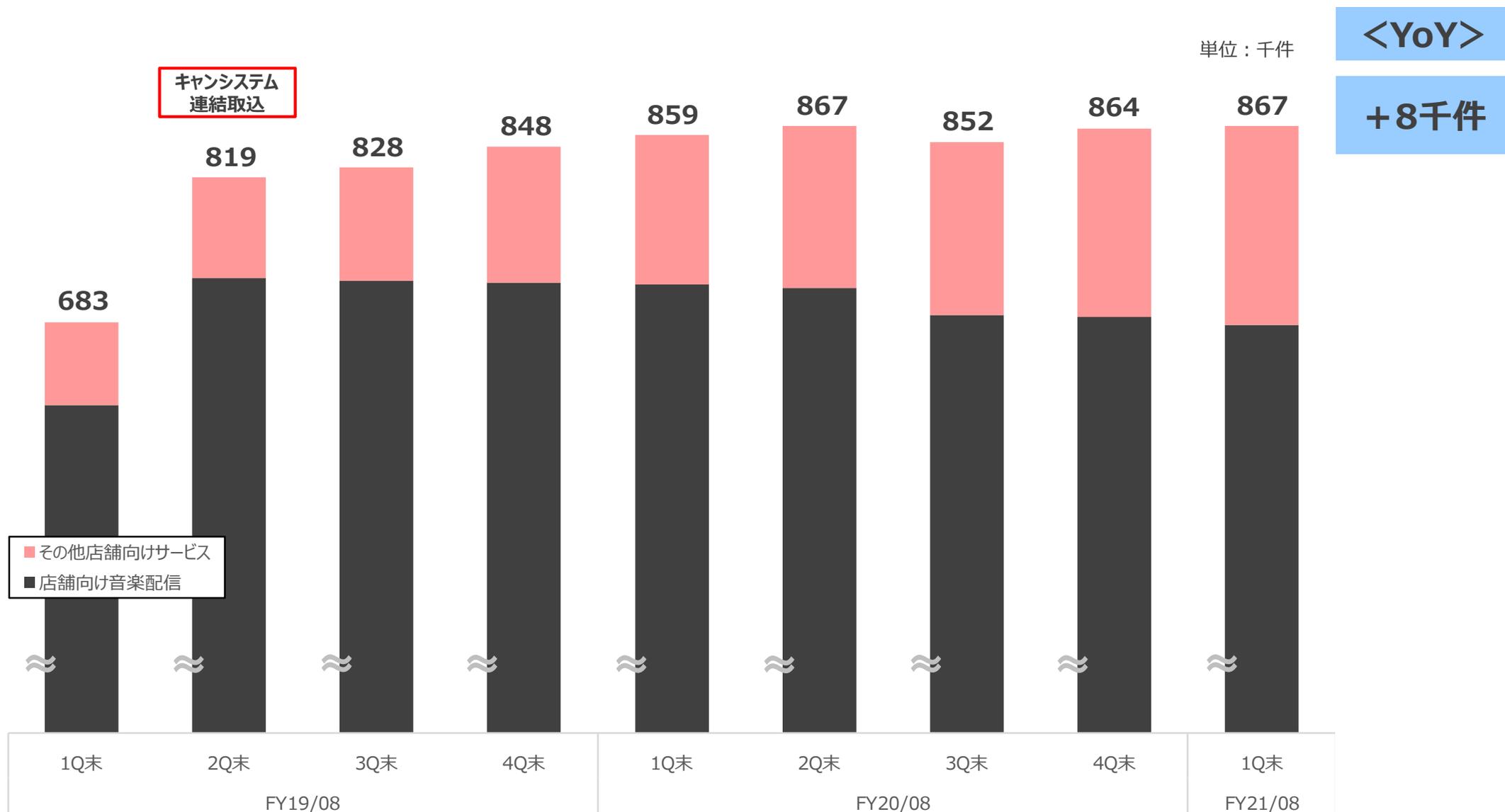
- ✓ 旧店舗サービスは消費増税前特需があった前年対比で減収微減益も、前四半期比は増収増益を達成
- ✓ 旧メディア事業は前四半期比で増収赤字幅縮小

# 店舗サービス事業 (USEN IoT PLATFORM構想)



✓ 通信環境をプラットフォームとしてIoT/DXソリューションサービスをワンストップで提供し収益拡大へ

# 店舗サービス事業（契約件数推移）



※その他店舗向けサービス：通信回線、POSレジサービス、Wi-Fiサービス、IPカメラサービス、アプリ生成サービス、グルメサイトサービスの合算

※ 1顧客が複数サービスを契約している場合、サービス毎に1件とカウント

✓ コロナ禍での緊急事態宣言時に純減になったが、以降は2四半期続けて純増基調へ回復

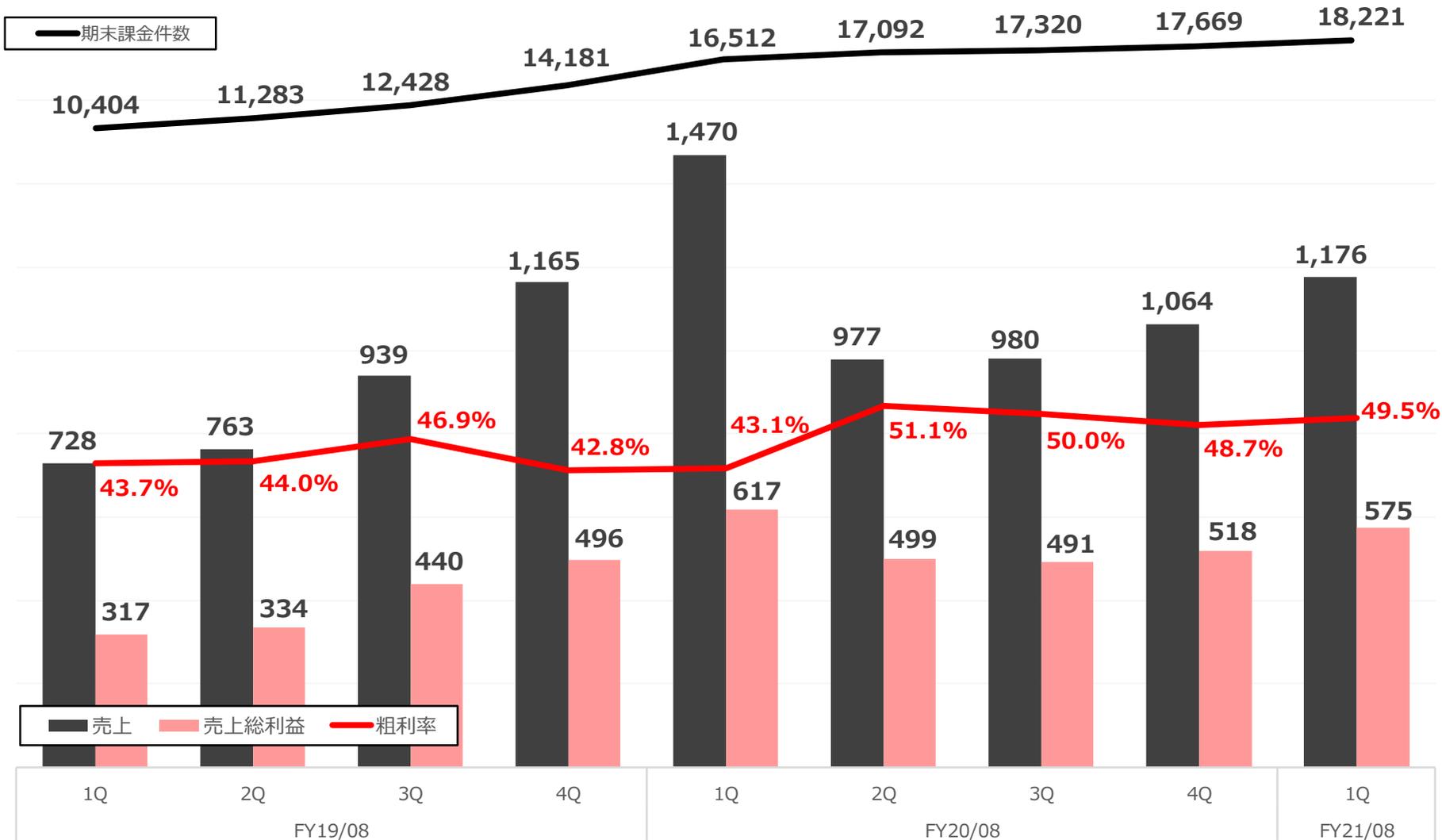
# 店舗サービス事業（POSレジサービス収益推移）

単位：百万円、件

<YoY>

課金件数  
+1.7千件

ランニング売上  
+19%



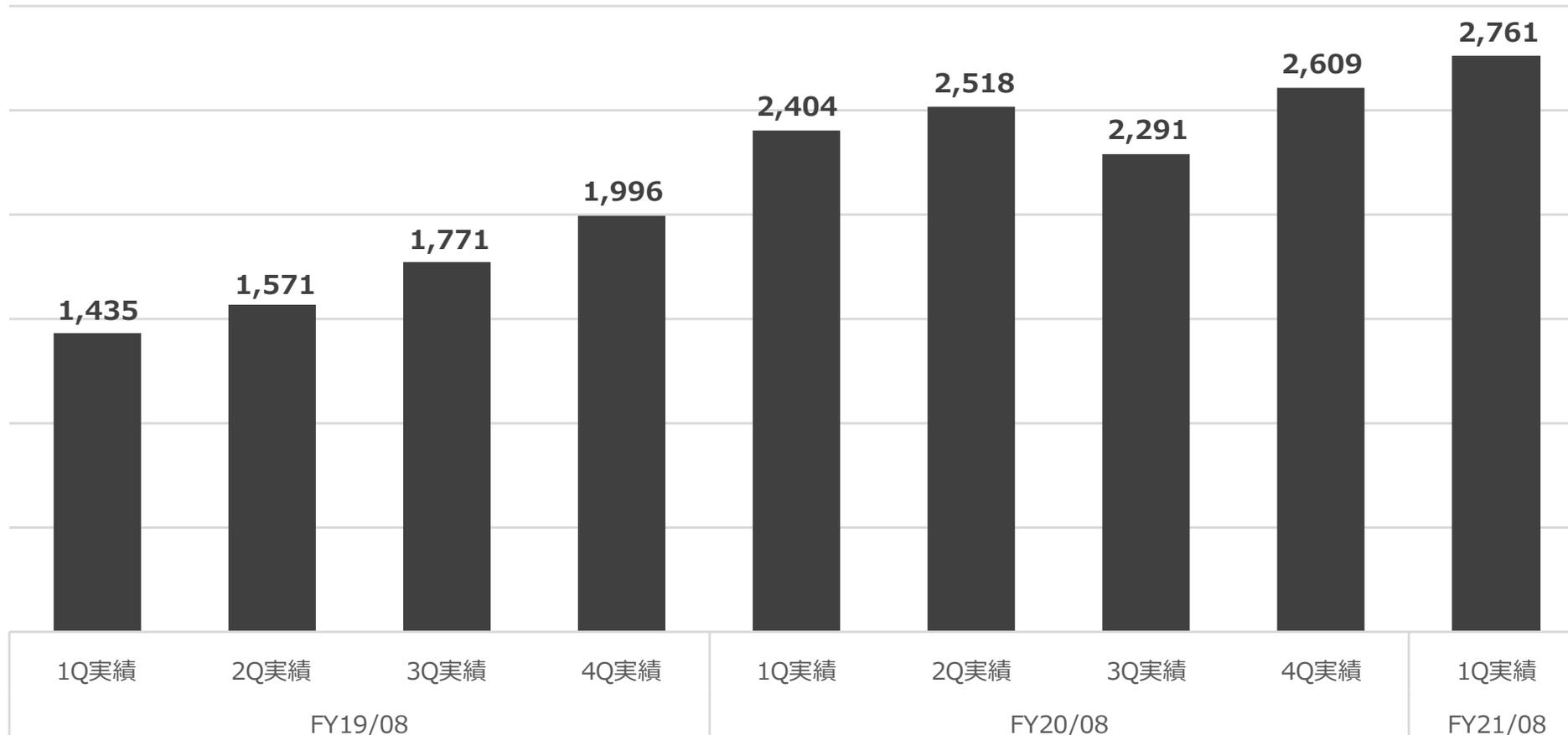
✓ IoT/DX注力商材の一つであるPOSレジはビジネスアライアンスや関連サービスを拡大しながら順調に成長

# 店舗サービス事業（POSレジサービスARR）

<YoY>

単位：百万円

**+357M**  
**(+15%)**



※Annual Recurring Revenue：Monthly Recurring Revenue の12倍

※Monthly Recurring Revenue：POSレジサービス売上における継続課金売上（機器販売や加入金などのイニシャル売上を除く）

※各四半期最終月の単月売上ベース

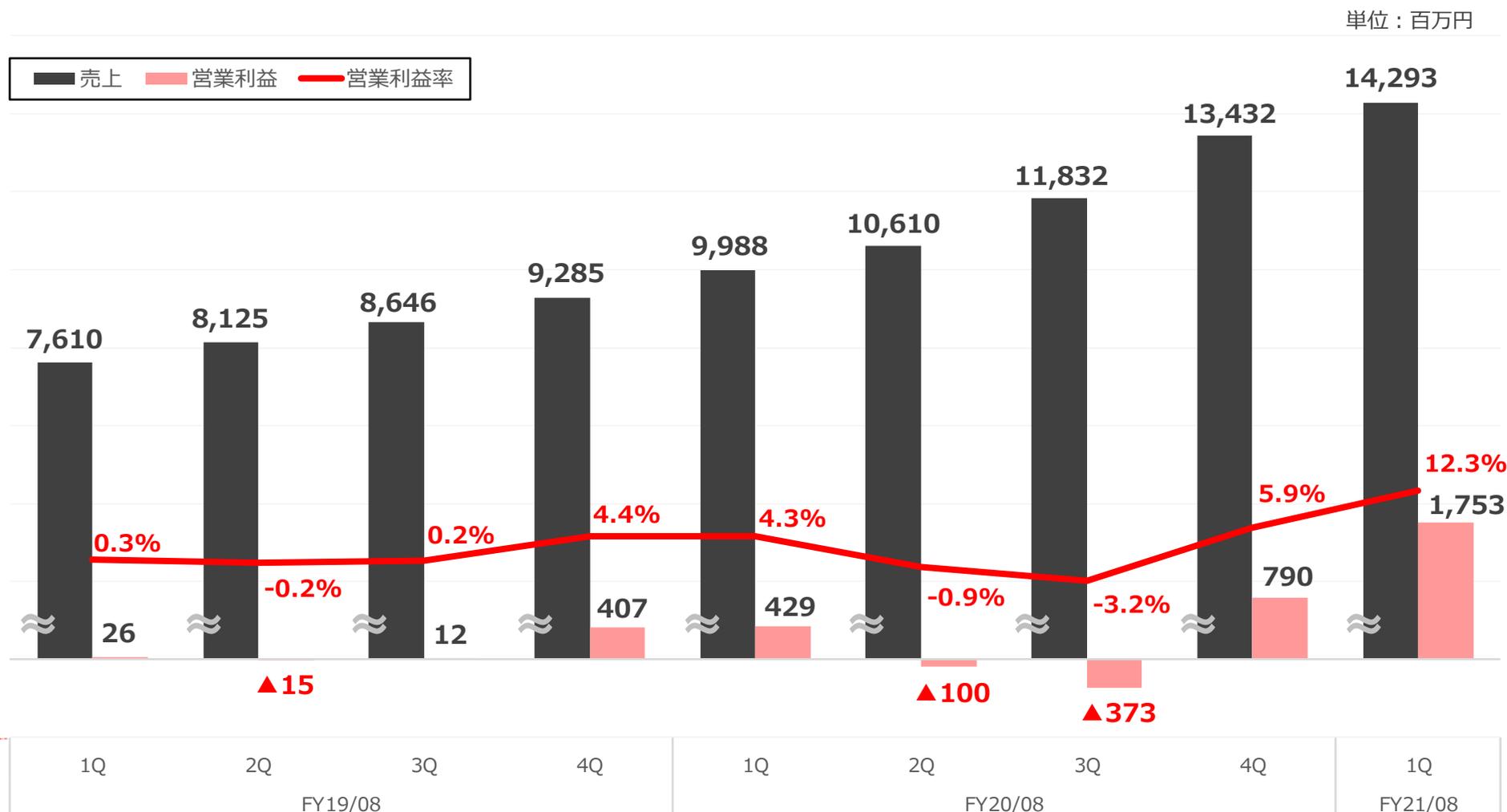
✓ コロナ禍の緊急事態宣言に伴う料金減免等によりFY20/08Q3は純減も、その他期間は安定的に伸長

# コンテンツ配信事業（業績推移）

<YoY>

売上  
+43%

営業利益  
+309%



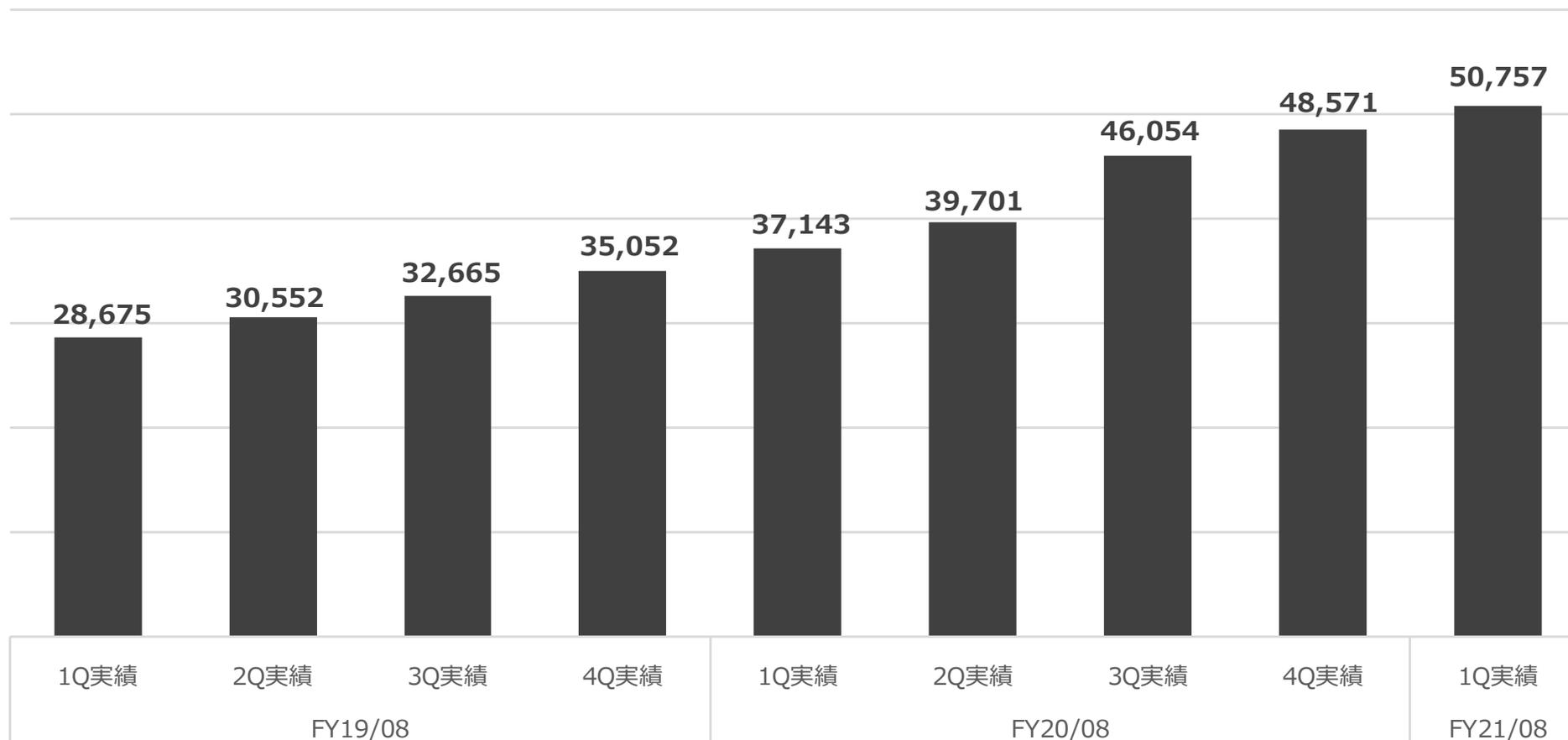
- ✓ 売上成長は堅調に推移、直近第1四半期はTVCMや大規模なコンテンツ調達など大きな先行投資が無かったため営業利益18億円は現状の利益創出力

# コンテンツ配信事業 (ARR)

単位：百万円

<YoY>

+136億円  
(+37%)



※Annual Recurring Revenue : Monthly Recurring Revenue の12倍

※Monthly Recurring Revenue : U-NEXTサービス全体の継続課金売上 (PPVなどイニシャル売上を除き、音楽配信など付帯月額サービスを含む)

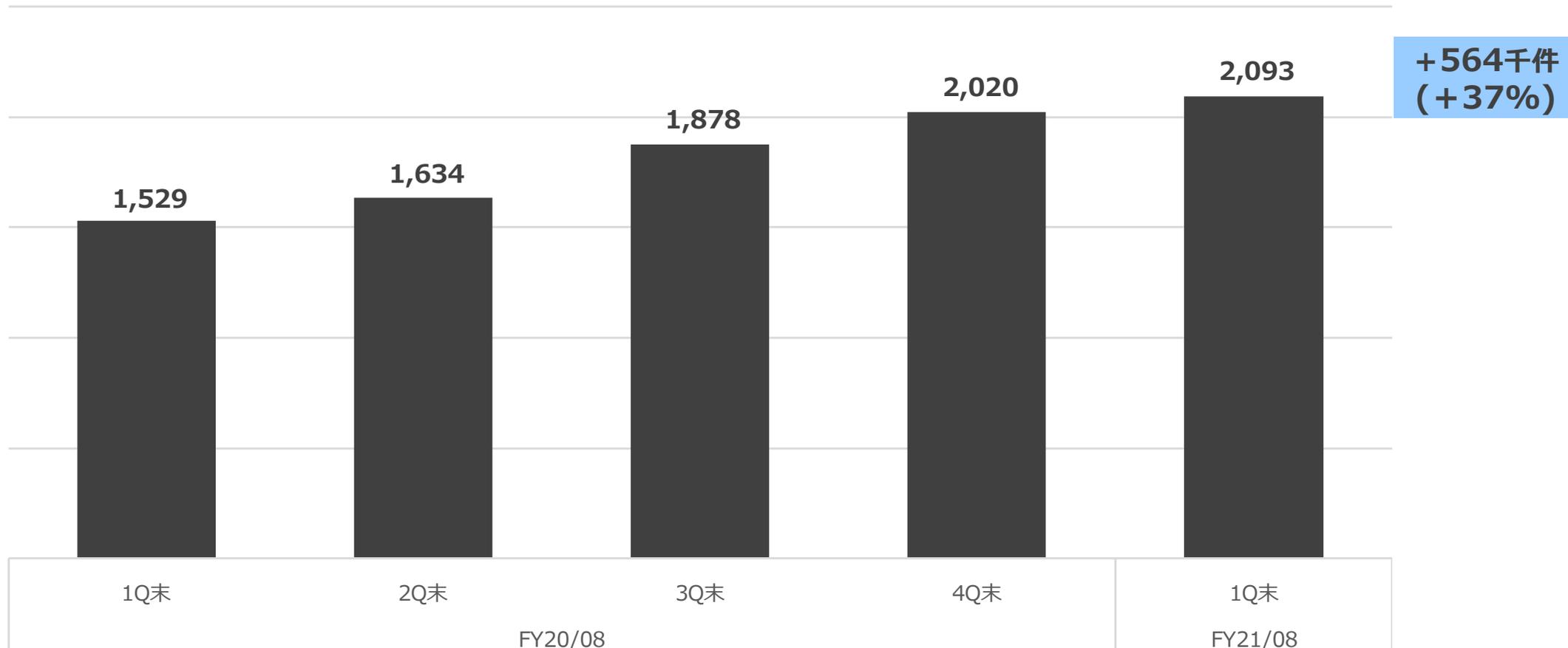
※各四半期最終月の単月売上ベース

✓ コロナ禍の巣ごもり需要に伴うFY20/08Q3の大幅増以降も反動減無くARRは順調に伸長

# コンテンツ配信事業（課金ユーザー推移）

<YoY>

単位：千件



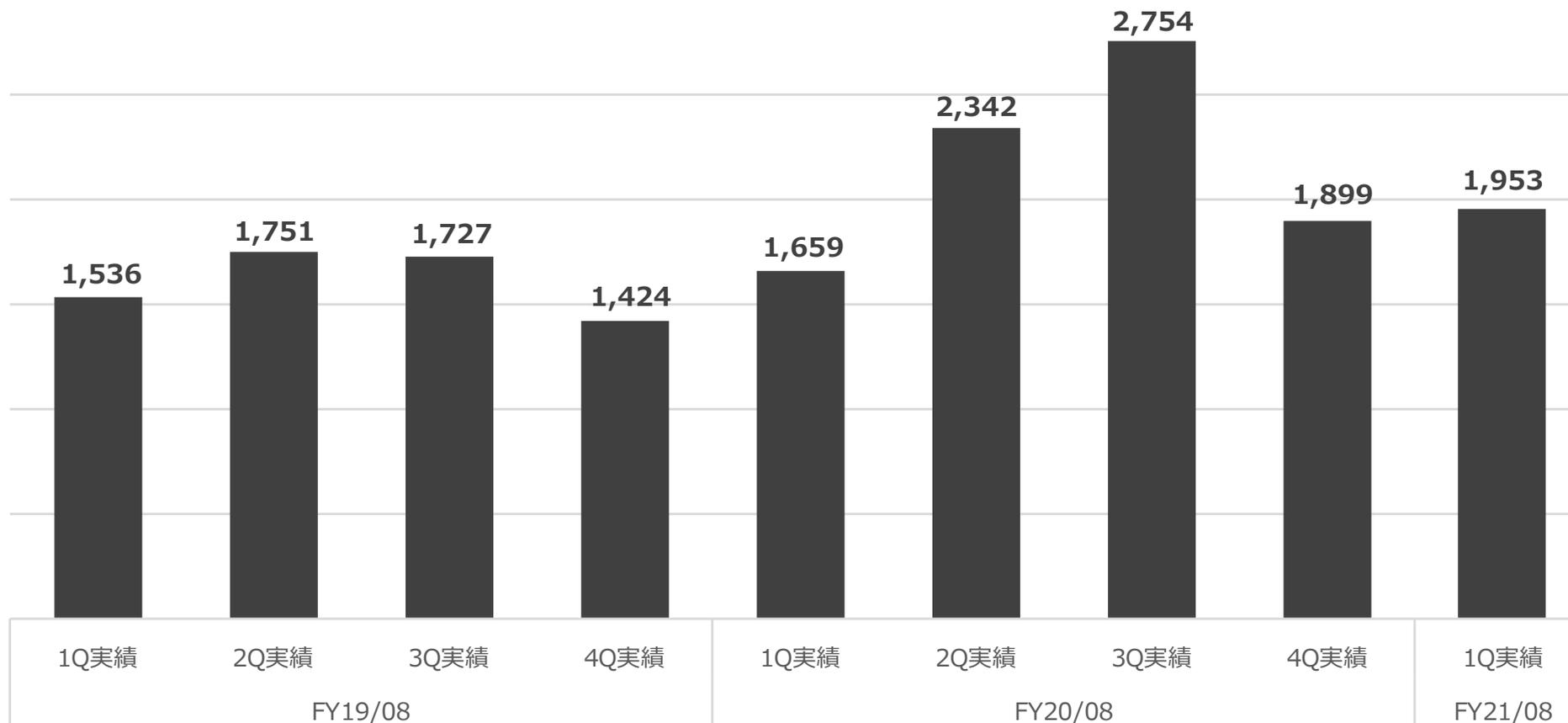
※ビジネスアライアンス先を通じた月額ポイントサービス等を含む

✓ FY20/08Q3の大幅増もあり課金ユーザー数は前年同期比で+564千件（37%）の増加

# コンテンツ配信事業（広告販促費）

単位：百万円

<YoY>



+ 18%

- ✓ VODマーケット全体が伸びている事業環境を踏まえ、  
売上成長に連動して投下する広告販促費も増加させることでユーザー獲得を積極的に推進

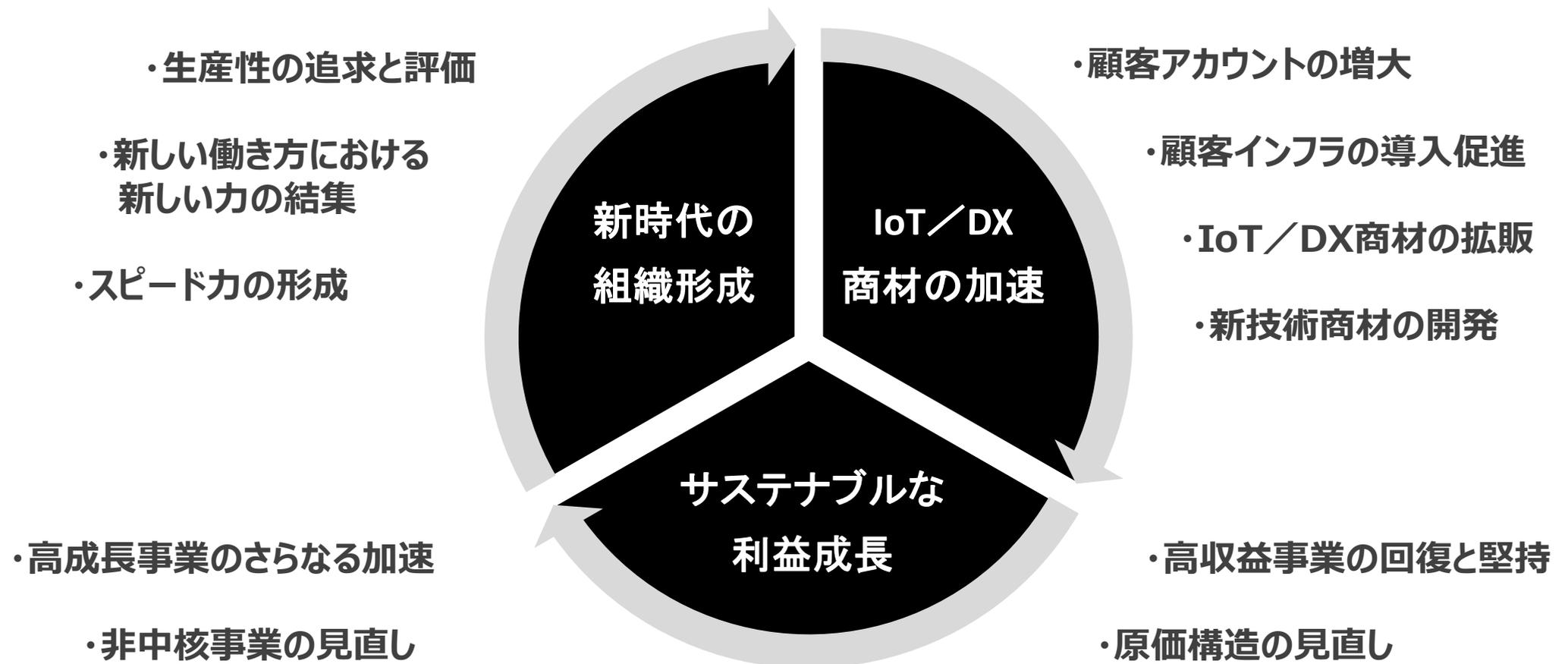
**1.** 2021年8月期第1四半期連結決算について

**2.** 事業セグメント別業績について

**3.** **事業概要及び成長戦略について**

**4.** APPENDIX

## 今こそ、必要とされる次へ。

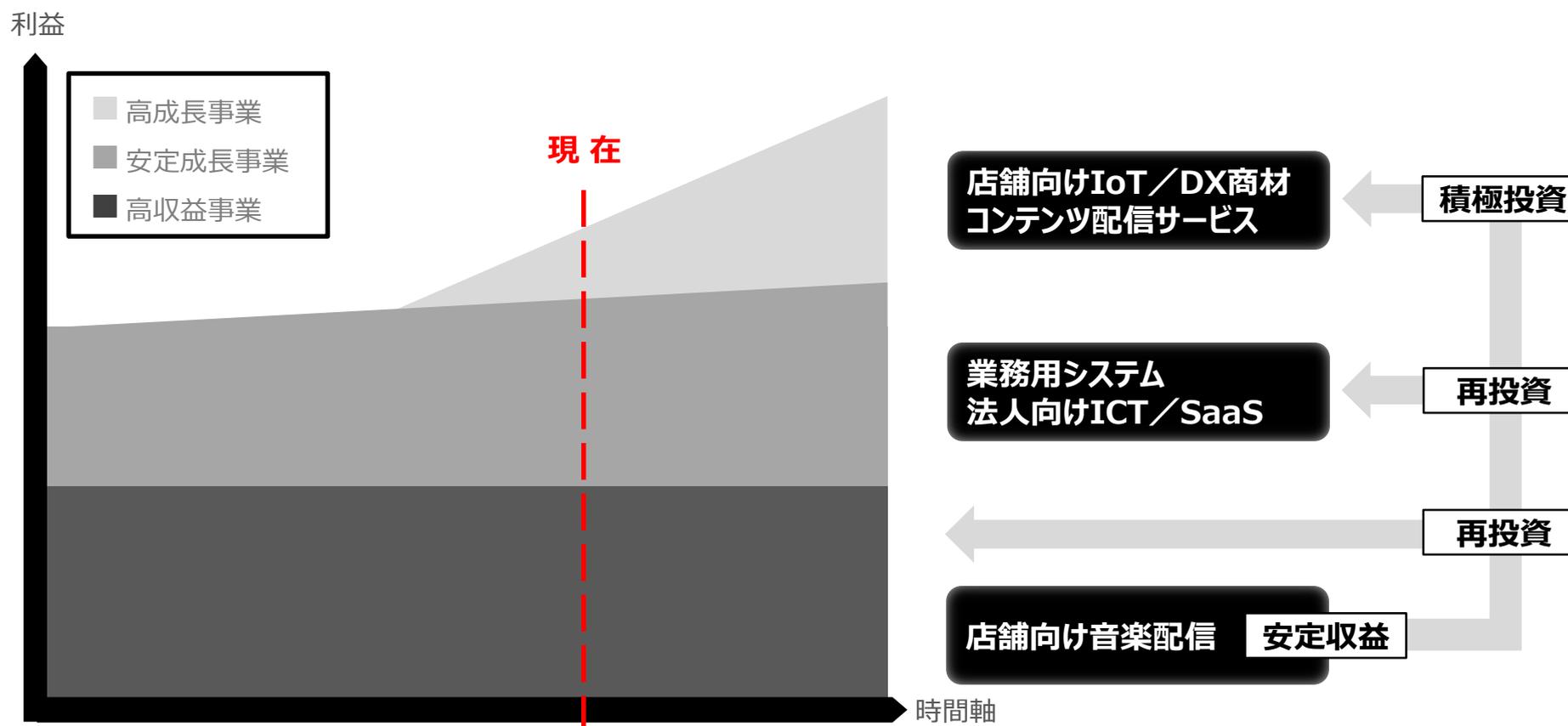


# 事業セグメント概要

	特徴／競争優位性	成長戦略／注力領域
 <b>店舗サービス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 飲食や小売、理美容など業務店市場で展開</li> <li>✓ 国内シェアNo.1の店舗向け音楽配信による安定収益</li> <li>✓ 全国2,000名超の直販営業/施工人員が大きな競争優位性の1つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 通信環境をプラットフォームとしたIoT/DX商材によるアップセル（自社リソースで納品～保守・サポートまで一気通貫で対応）</li> <li>✓ セット成約率が高い新規OPEN店により注力、既存店閉店→後継店OPENのサイクルで徐々にアップセル浸透</li> </ul>
 <b>通信</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 中小企業(SME)、業務店舗、個人向けに通信サービスを展開</li> <li>✓ 法人向けICTは直販営業によるマルチベンダー戦略</li> <li>✓ 店舗向け(取次、自社回線)は250社の代理店を通じて展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 契約取次から自社回線獲得へスイッチングしストック収益へ転換</li> <li>✓ 店舗向け自社回線顧客増加でIoT/DX商材アップセル機会創出</li> <li>✓ 法人向けICTはニーズに即したラインアップ構築で安定成長を企図</li> </ul>
 <b>業務用システム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ レジャーホテル、ビジネスホテル、大規模医療機関が主力市場</li> <li>✓ ファブレスメーカーであり主力製品の自動精算機は国内シェアNo.1</li> <li>✓ 売上のフロー/ストック構成比はおおよそ55：45で安定的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 生産年齢人口減少等による効率化ニーズを踏まえたDX化支援</li> <li>✓ 販売機器へオプション提供するソフトウェアサービスでストック収益増</li> <li>✓ 「マイナタッチ」を起点とした中小規模医療機関への事業領域拡大</li> </ul>
 <b>コンテンツ配信</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国内主要VODサービスの一つである「U-NEXT」を展開</li> <li>✓ 見放題とポイントのハイブリッドでHigh ARPU実現、売上は業界トップクラス</li> <li>✓ コンテンツ数は圧倒的No.1（※）、1契約で電子書籍もパッケージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新規ユーザー獲得に向けた広告販促費は継続して積極投下</li> <li>✓ 既存ユーザーのリテンションに向けたコンテンツの更なる充実化</li> <li>✓ 音楽配信でのリレーションを活用した音楽ライブ配信の本格化検討</li> </ul>
 <b>エネルギー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 収益ボラティリティを回避すべく市場調達ではなく東京電力より相対調達</li> <li>✓ 直販営業やアウトバウンド、代理店などグループ販売チャンネルを最大活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 東京電力エリア内で一部帯域の電力取り扱い開始</li> <li>✓ 対象業種を問わないインフラサービスで施設運用コスト削減に貢献</li> </ul>

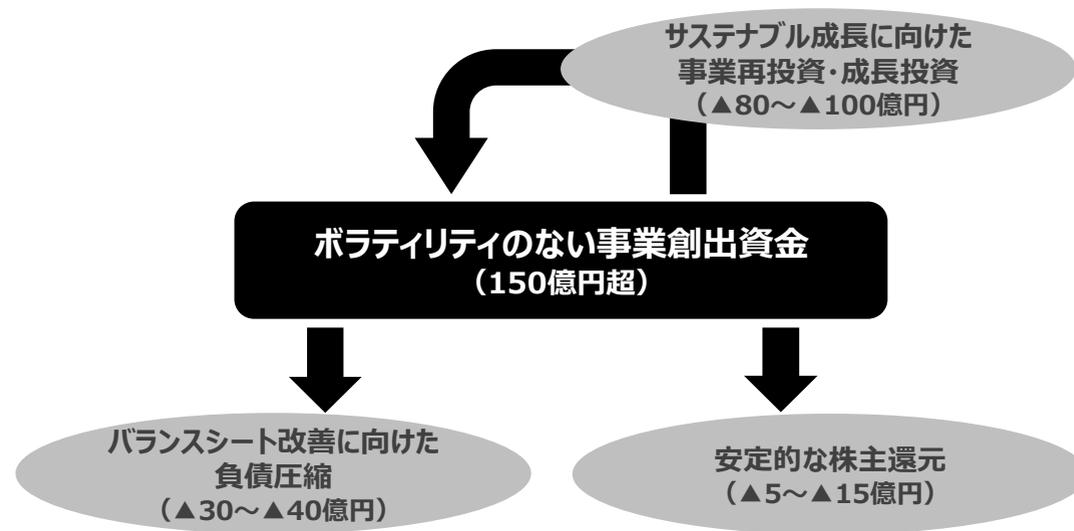
（※）2020年9月 GEM Partners調べ

# (事業ポートフォリオ別) 収益成長概念図



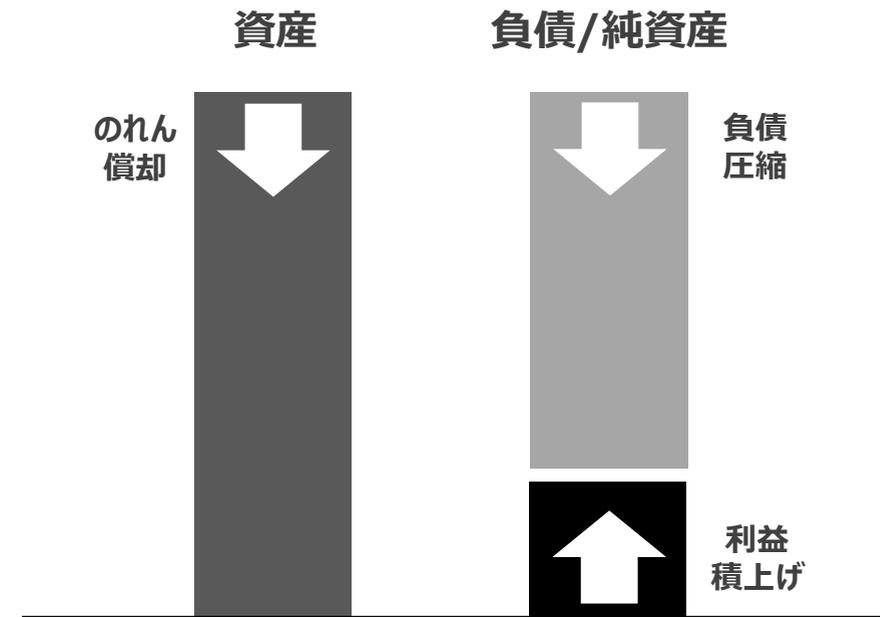
- ✓ ストック収益でキャッシュカウな店舗向け音楽配信による創出資金を成長事業へ積極投下
- ✓ コンテンツ配信を中心とした高成長事業も先行投資段階から収益化を達成、  
今後は成長性を維持しつつ収益貢献していくステージへ

## ■ キャッシュフロー／キャピタルアロケーション



- ✓ 安定した事業C/Fを源泉に原則自己資金で事業・財務を運営
- ✓ 事業C/Fの自己評価指標としてキャッシュ・コンバージョン・サイクル (CCC) を重視

## ■ バランスシート



- ✓ D/EレシオとROEのバランスを考慮しつつオーガニックに財務基盤改善
- ✓ ボラティリティの低い収益構造のため一定のレバレッジ経営が可能

**1.** 2021年8月期第1四半期連結決算について

**2.** 事業セグメント別業績について

**3.** 事業概要及び成長戦略について

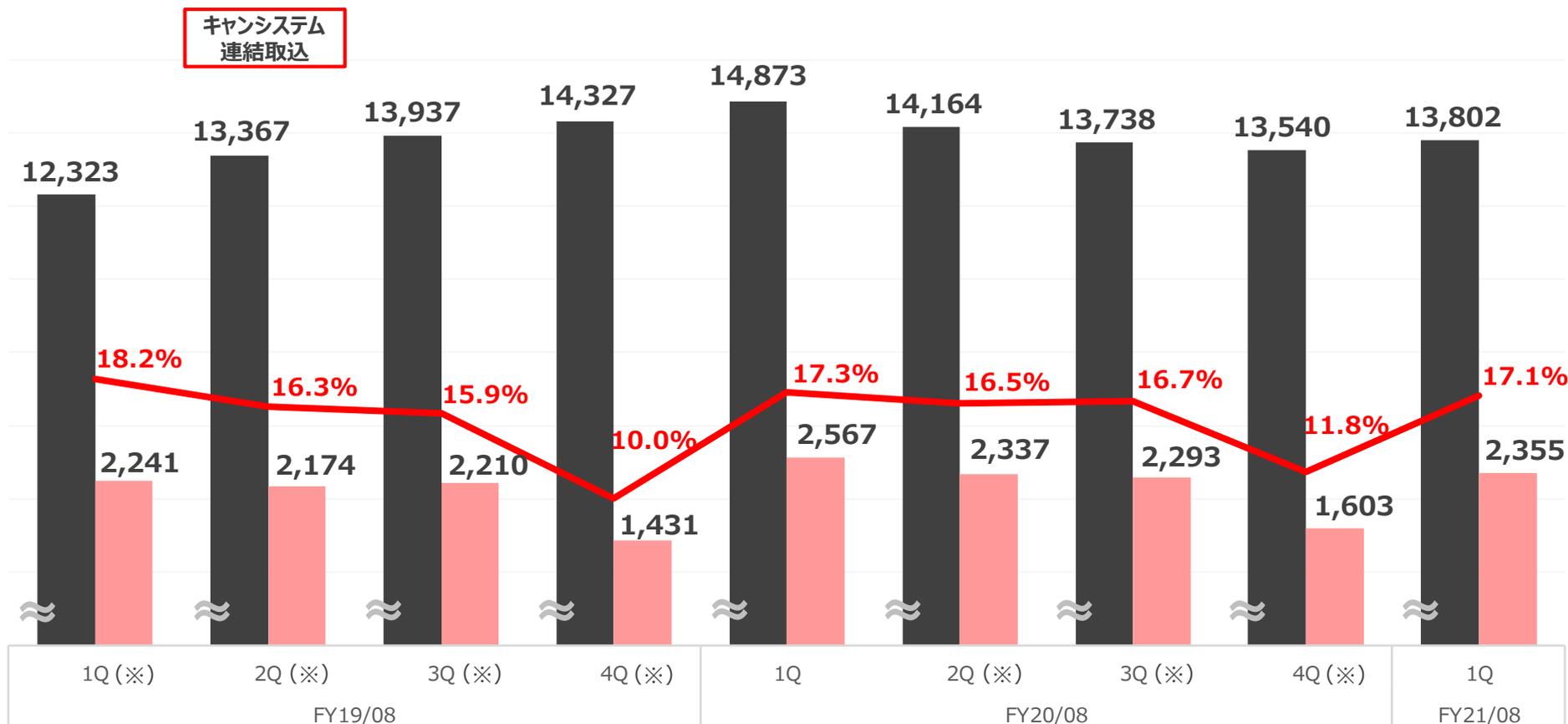
**4.** **APPENDIX**

# 店舗サービス事業（業績推移）

単位：百万円

<YoY>

■ 売上 ■ 営業利益 ▲ 営業利益率



売上  
▲7%

営業利益  
▲8%

※旧店舗サービス事業と旧メディア事業の単純合算

## 自身のスマホからオーダーできる『USEN My Menu Premium』リリース



- ✓ レジ非連動型の簡易モバイルオーダーシステムであり、サービス特徴は以下の通り
  - 店舗：現在利用中のレジはそのままリリースナブル且つスムーズにモバイルオーダー機能を導入
  - 店舗スタッフ：注文受付業務を削減し接客や配膳に特化
  - 来店客：店舗の混雑状況に影響を受けず注文可、且つ自身のスマートフォンのため衛生面も安心

また、今回の新サービスを含めて現在当社グループで提供している飲食店向けオーダーソリューションは以下の通り

POSレジ	連動	非連動
注文端末		
来店客スマホ		
店舗のタッチパネル		

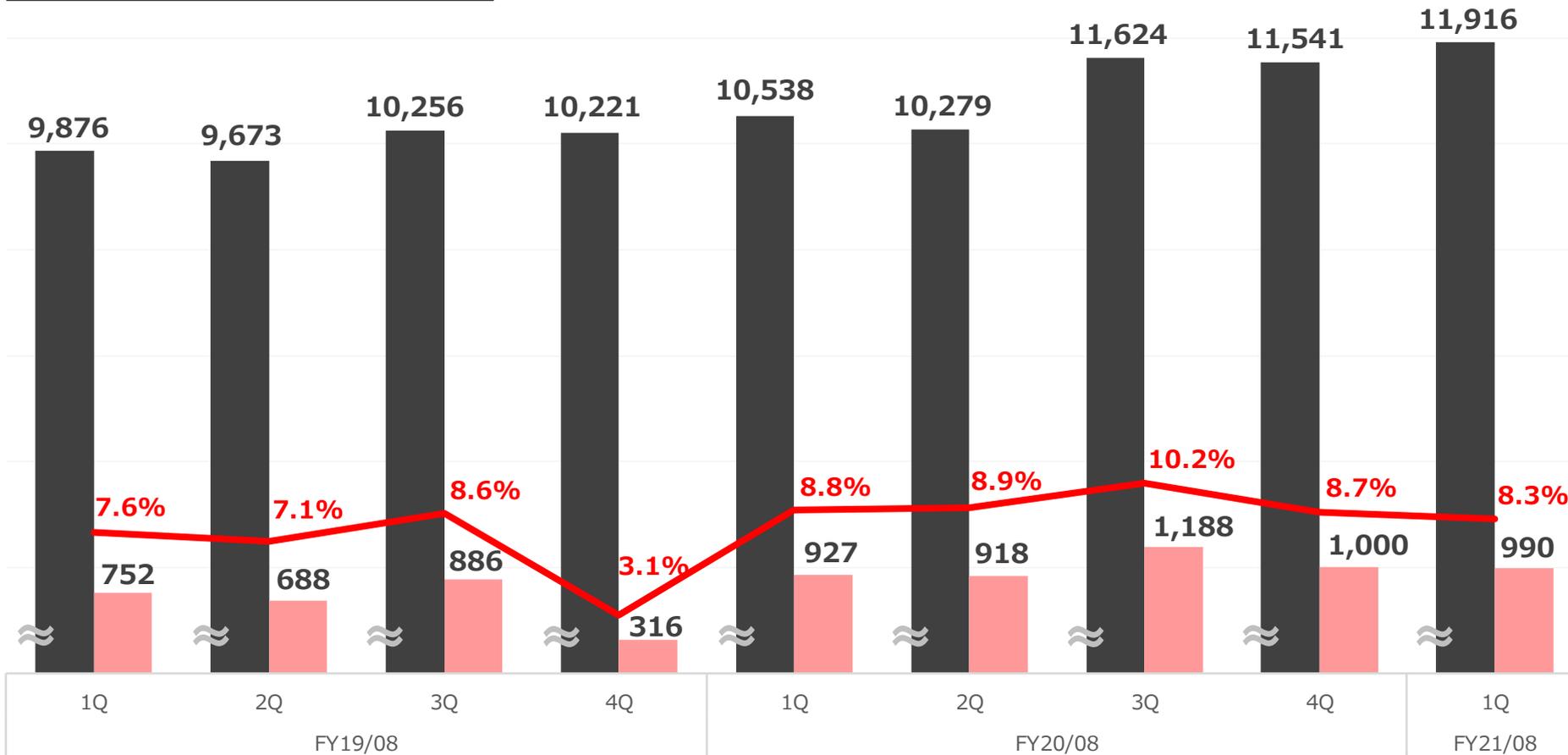
注文環境	注文形態	サービス名称
店内	スタッフによる注文	ULeji HANDY
	券売機	ULeji Ticket and Pay ※2020年11月リリース予定
店外	テイクアウト	 Mini app for Take out
	デリバリー	Uber Eats

# 通信事業（業績推移）

単位：百万円

<YoY>

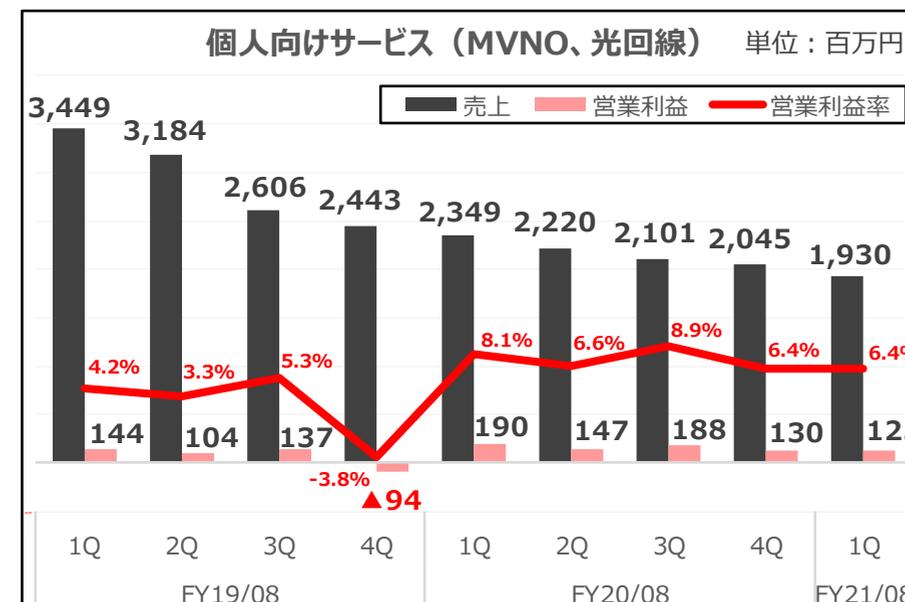
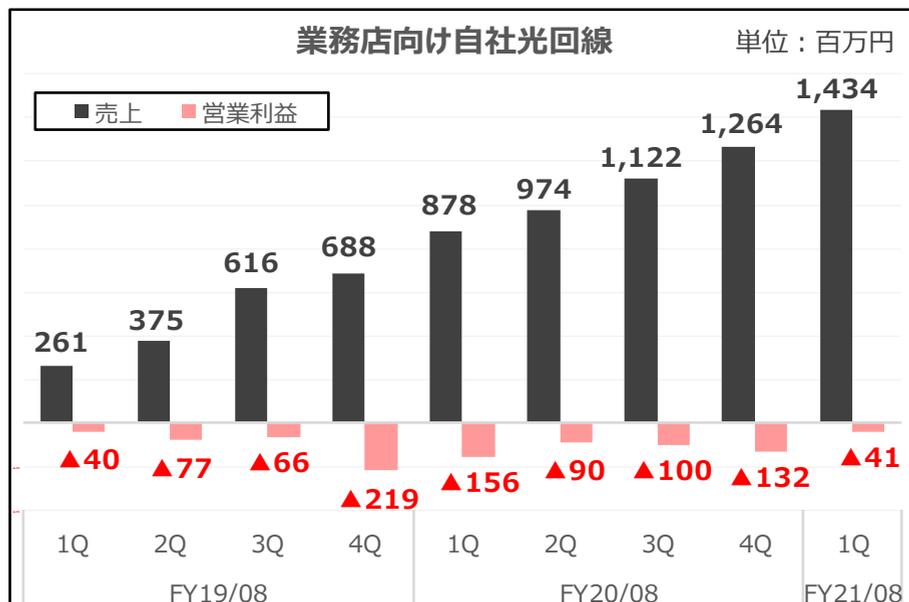
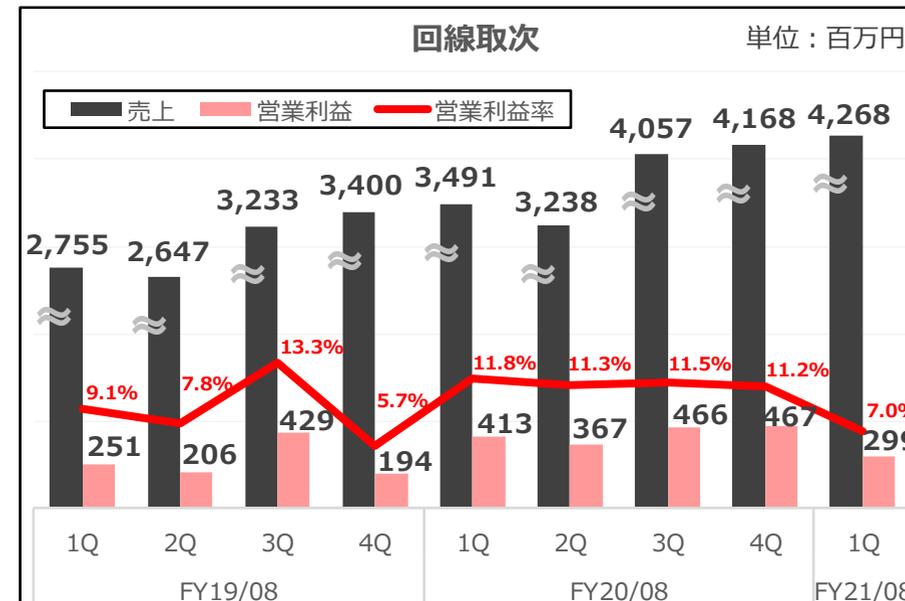
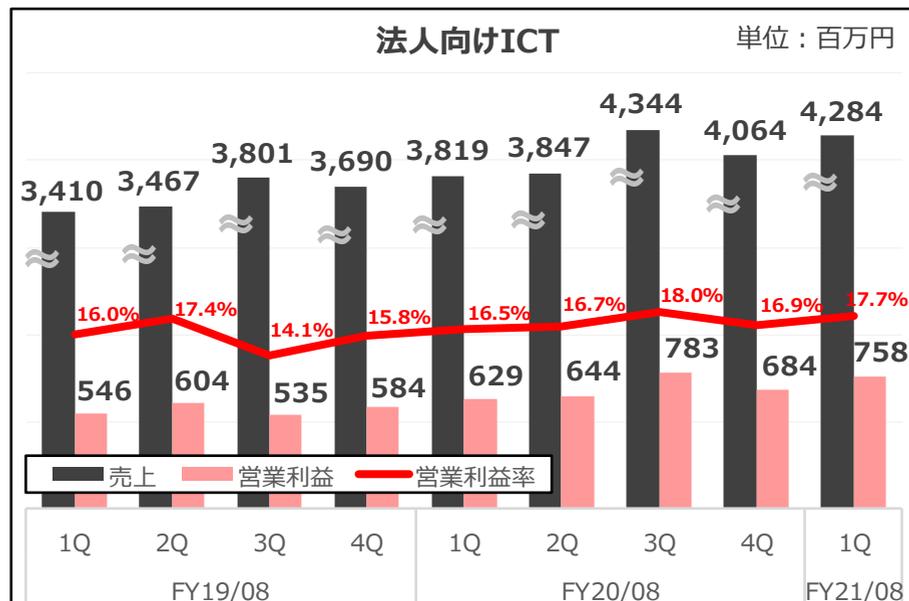
■ 売上 ■ 営業利益 — 営業利益率



売上  
+13%

営業利益  
+7%

# 通信事業（サービス区分別損益）



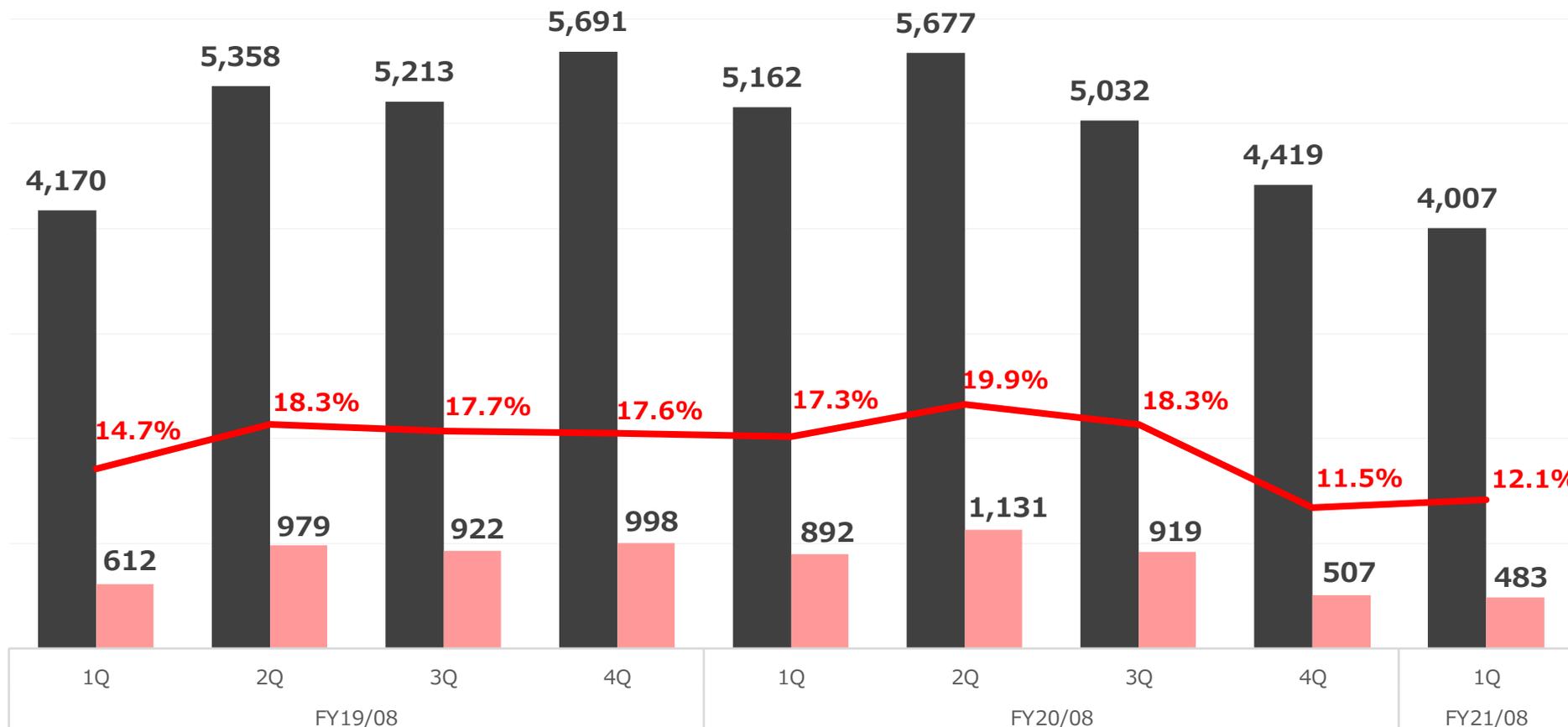
※通信事業の営業利益においては上記のほか年間6億円ののれん償却費が発生（今期上期で償却終了）

# 業務用システム事業（業績推移）

単位：百万円

<YoY>

■ 売上 ■ 営業利益 — 営業利益率



売上  
▲22%

営業利益  
▲46%

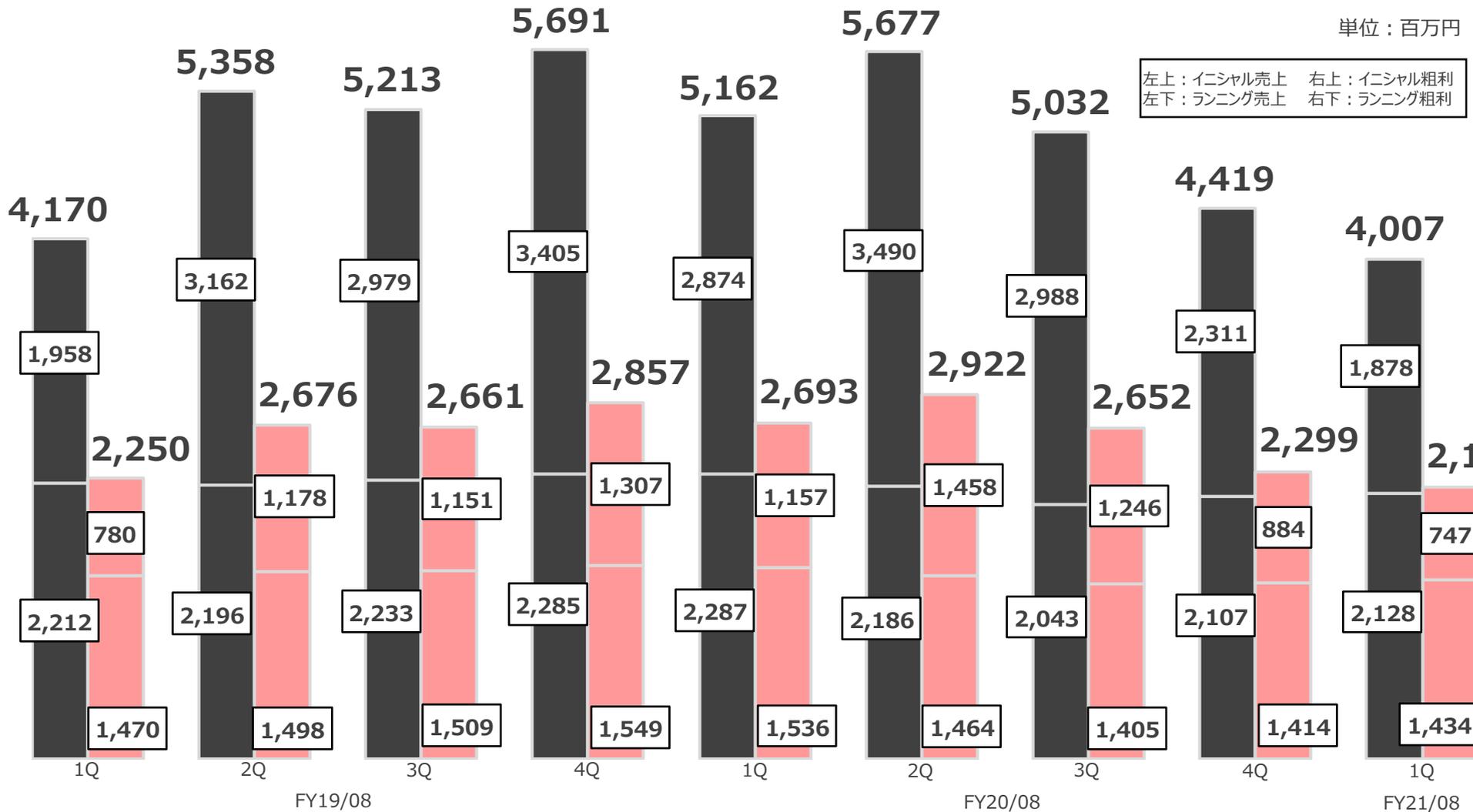
# 業務用システム事業（イニシャル／ランニング別収益）

<YoY>

— ランニング粗利率 — イニシャル粗利率

66.5% 68.2% 67.6% 67.8% 67.1% 67.0% 68.8% 67.1% 67.4%

39.8% 37.3% 38.7% 38.4% 40.3% 41.8% 41.7% 38.2% 39.8%



イニシャル売上  
▲35%

ランニング売上  
▲7%

## 医療機関・薬局向け顔認証付きカードリーダー『マイナタッチ』



- ✓ 厚生労働省が推進し、2021年3月より運用が始まる「オンライン資格確認（※）」に対応した医療機関・薬局向け顔認証付きカードリーダー『マイナタッチ』をリリース
- ✓ 導入機器メーカーとして当社グループのアルメックスを含む国内3社が選定され、今後3年間をかけて全国20万以上の医療機関や薬局へ国庫からの補助金も活用して導入を促進

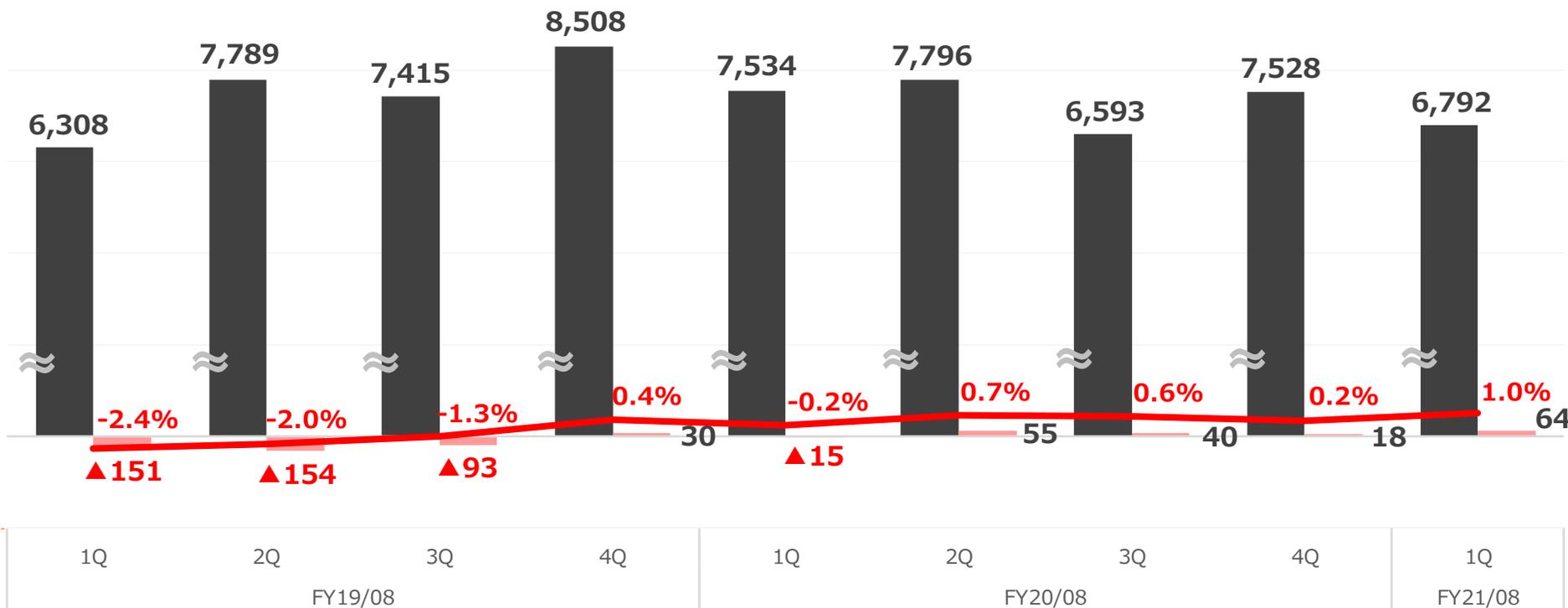
（※）オンライン資格確認：マイナンバーカードのICチップや健康保険証の記号番号等によるオンラインでの資格情報確認。対応機器の導入により受付への保険証提示が不要となり医療機関や薬局の業務効率化が見込まれる。

# エネルギー事業（業績推移）

単位：百万円

<YoY>

■ 売上 ■ 営業利益 ■ 営業利益率

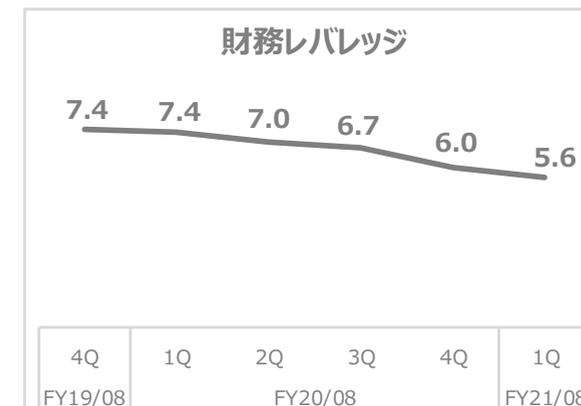
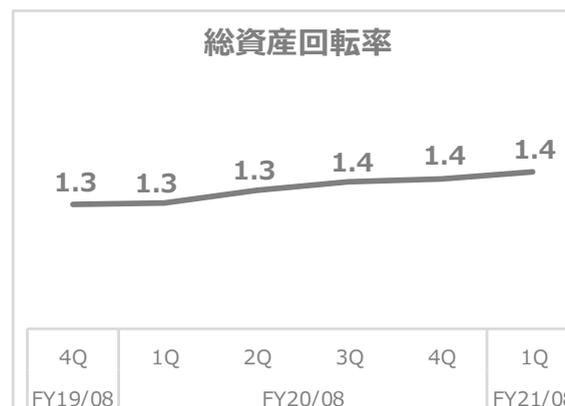
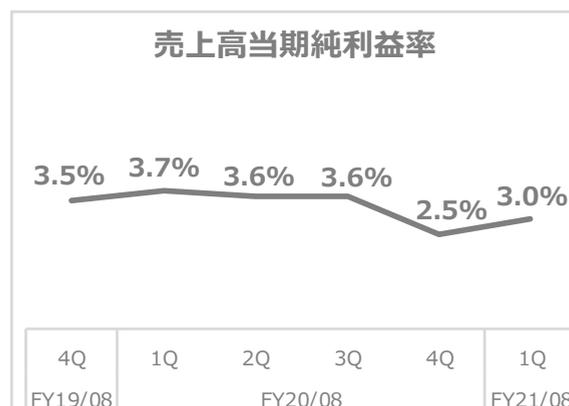
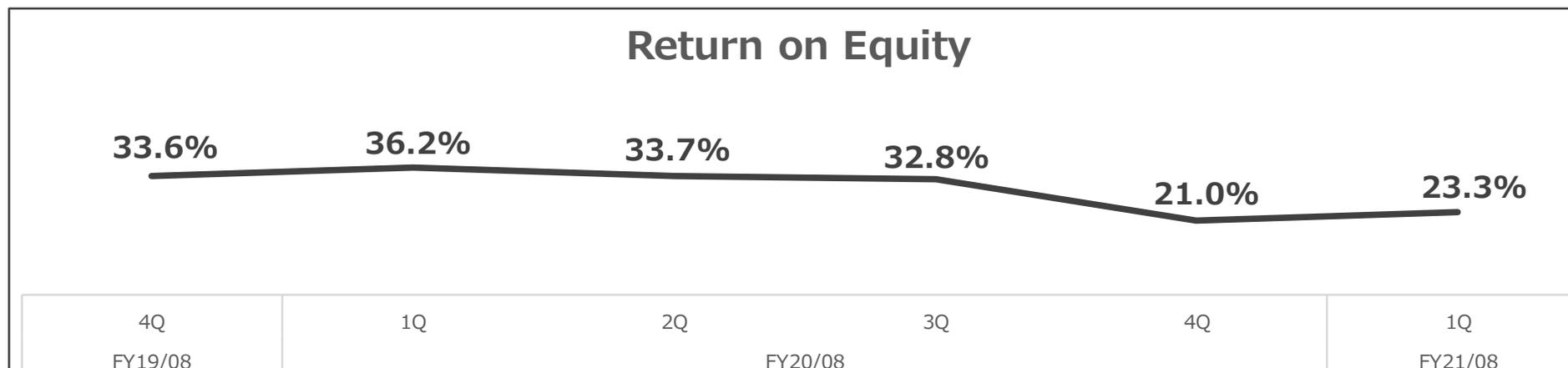


売上  
▲10%

営業利益  
黒転

# 経営財務指標 (ROE ※LTMベース)

※LTM : Last Twelve Month (直近12ヶ月)

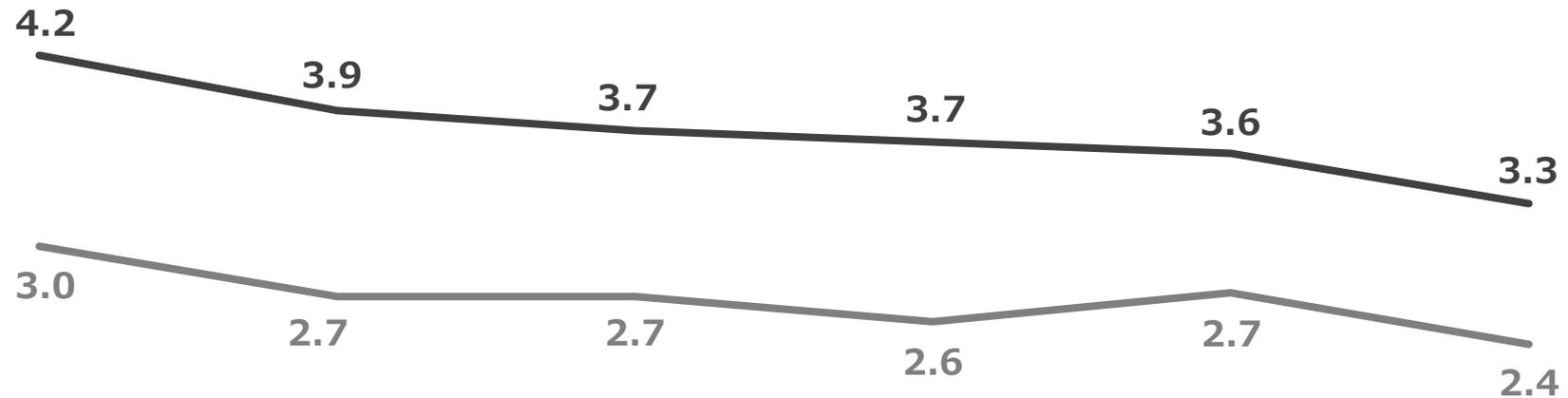


- ※Return on Equity (ROE) : 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ
- ※売上高当期純利益率 : 当期純利益 ÷ 売上高
- ※総資産回転率 : 売上高 ÷ 総資産 (期中平均)
- ※財務レバレッジ : 総資産 (期中平均) ÷ 自己資本 (期中平均)
- ※自己資本 : 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分

✓ 財務レバレッジ低下 (= 安全性は向上) を主要因としてROEは遞減傾向も20%超と高水準を維持

# 経営財務指標（レバレッジレシオ ※LTMベース）

※LTM : Last Twelve Month（直近12ヶ月）



— グロスレバレッジレシオ  
— ネットレバレッジレシオ

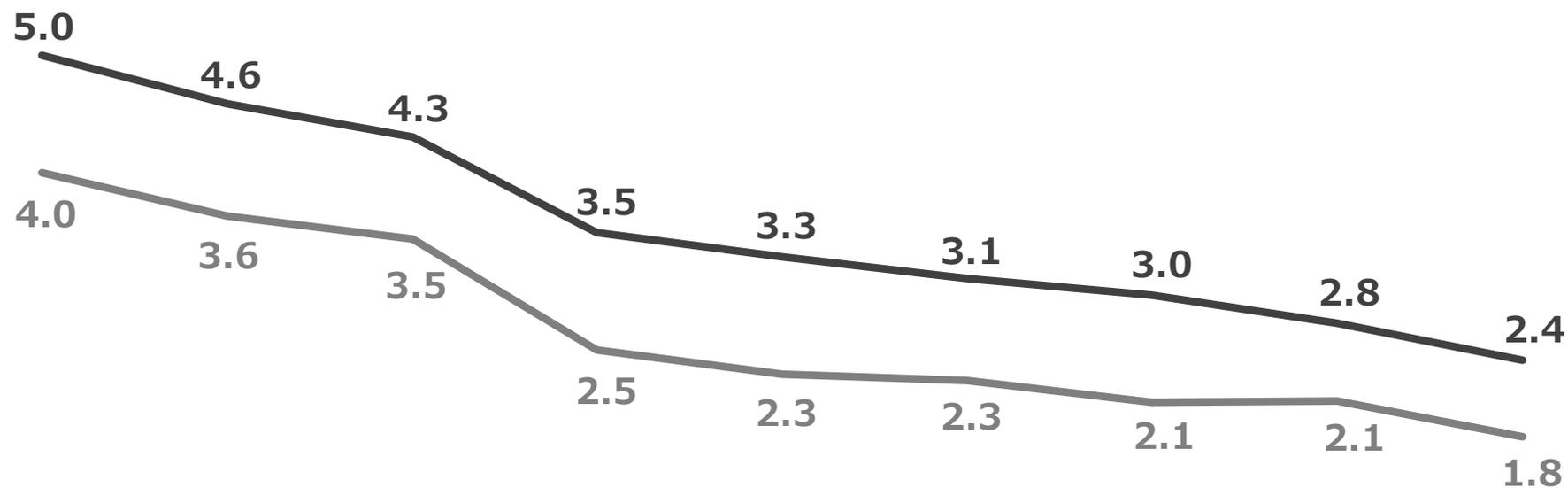
4Q FY19/08	1Q FY20/08	2Q FY20/08	3Q FY20/08	4Q FY20/08	1Q FY21/08

※グロスレバレッジレシオ：有利子負債 ÷ EBITDA

※ネットレバレッジレシオ：（有利子負債－現預金） ÷ EBITDA

✓ EBITDAの増加と有利子負債圧縮で減少傾向、ネットデットベースで2.5倍未満に

# 経営財務指標（D/Eレシオ）



グロスD/Eレシオ  
 ネットD/Eレシオ

1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
FY19/08				FY20/08				FY21/08

※グロスD/Eレシオ：有利子負債 ÷ 株主資本  
 ※ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金） ÷ 株主資本

✓ 安定した利益計上と有利子負債圧縮で減少傾向、ネットデットベースで2倍を割る水準に

## USEN-NEXT HOLDINGS 中期経営計画を発表

・2019年6月6日に弊社中期経営計画を発表しました。

URL : <https://usen-next.co.jp/ir/material.html>



USEN-NEXT  
HOLDINGS

必要とされる次へ。

NEXT for 2024

Work  
Style  
Innovation

かっこよく働こう。  
Be innovative for results!

USEN-NEXT  
GROUP



必要とされる次へ。

本資料に記載されている意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、リスクや不確実性を含んでいるため、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。